滿洲日報 夕刊 五月一日

國民會議東北代表が旅大滿鐵回收を宣傳
對日問題委員會を組織して運動
南京政府首腦に進言

【北平一日發】東北四省選出國民會議代表二十餘名は張學良氏の指圖により大會提案の確定を見たので今朝北平南下したが右提案は日本の在滿勢力驅逐を主眼としたもので

一、斷然たる手段を執る治外法權撤廢案
二、對日政策確定案
三、鐵道回收案
四、在滿鮮人待遇案

の四項に分れ内二項は國權保障のため對日政策を確定すべく對日問題委員會を組織し左の點を進言すべしとなしてゐる

一、旅大回收準備
二、滿鐵回收準備
三、日本と債務關係ある諸鐵道の整理辦法
四、北方における日本人の營業制限
五、本委員會は速やかに以上の具體案を作成すべし
六、政府は右具體案に基き審議を進めこれが達成を期すべし

以上の如くで張學良氏の決裁を經た關係からしても相當强硬な決議となつて現はれるだらうと宣傳してゐる

治廢の滿洲除外を一部で强硬に反對
支那側の意見不一致

【南京三十日發】國民政府は重光代理公使歸任後行はるべき法權交渉に關する日本の態度につき新聞の報道及び重光公使の報告を基礎として注意を拂つてゐるが、對日交渉については國民政府部内に滿洲における日本の特殊權益、旅大の回收等を强硬に主張する者もあり意見一致せず張學良氏の上京を機としてこれ等の問題について意見交換をなし國民會議に報告して對日交渉態度を確立するに決したと傳へられてゐるが、支那側では日支法權交渉開始の劈頭から特殊地域としての滿洲除外に絶對反對を表明するものと見られ交渉の前途は早くも多難を豫想されてゐる

日支協調が必要
徐箴氏談

國民會議代表に選擧されたハルビン特別區電信、電話總局長徐箴氏は卅日午前十時半の北寧線で天津經由南京へ向つたが、通信關係問題につき語る

國民會議には約法の外軍事、政治、財政等の問題が論議されるが、特に審査委員會が各部專門に討議るやうになつてゐるから問題はその專門委員會に提案する考へであり、腹案もあるが發表はできない、南京滯在は約一ケ月の豫定である、東支との電信、電權の交渉は電話は既に買收價格も決定し問題はないが、電信權については單にロシアへの發信に中國側は發信前に檢閲することを主張しロシア聯代表は發信後の檢閲には應諾してゐるので時間の問題となつてゐる、將來長春附屬地に自動電話が完成した時、長春、ハルビン間の長距離電話連絡もできぬことはない、現に浦鹽、ハルビン間の長距離電話は連絡してゐる、しかしその際は中日連絡會議を開かねばならぬ、最近北平、奉天、ハルビン間の長距離電話と電信の改修を行つた

氏は東北大學電氣科卒業で將來中日は交通上において協調し理解し合はねばならぬと述べ自分が東北の通信改善に努力しこれを完備することは日本留學の結果であることを内外に示したいと考へてゐる

戰史御研究の閑院若宮殿下

【上右】軍亭より御還の殿下【下左】宮ノ原の御父宮殿下御奮戰之碑前の若宮殿下【下】頭高に向はせらるゝ殿下

廣東方面形勢惡化 反蔣獨立宣言か
再び内亂勃發の兆

【上海一日發】國民會議を目前に控へ廣東方面の形勢頓に惡化し陳銘樞氏は香港に逃れ陳濟棠氏廣東に入り一兩日中に廣東、廣西の反蔣獨立宣言が發せらるべしとの風說專らであるが廣東派の重鎭たる鐵道部長孫科、司法院長王寵惠氏は過般來南京に來たが病氣と稱し歸京せず本日の全體會議にも缺席したので種々の謠言頻りに行はれ各方面の情報を綜合するに廣東の反蔣獨立は免れ難き形勢である、斯くて今日迄表面平靜に見えた支那時局はまたもや内亂勃發の形勢となつて來た

（は陳銘樞氏）

廣東政府の要人香港に避難

【香港三十日發】廣東の主席陳銘樞氏以下陳慶雲、陳策氏等の大官連が突如來香したゝめ廣東政局に重大な變化を來したものとして種々の謠言臆測が喧傳されてゐるが右は八路總指揮陳濟棠氏が豫てから中央政府に對して胡漢民、李濟琛氏等の釋放を要求し場合によつては强硬手段に出でんとする不穩の形勢見えたため反對の立場にある陳銘樞氏一派は危險を虞れて當地に避けたもの、如くであるが、陳銘樞氏は訪問の記者團に對しこれを否認し、廣東は極平和で今次の來廣は單なる私用に過ぎぬと語つた、しかし陳銘樞氏と國民政府の間には頻々暗號電報の往復あり、一行は黄雄氏宅に引籠つて秘密會議を開き協議を凝らしつゝあり、何等かの重大事態に直面してゐるものと見られてゐる（寫眞

中央執監委員全體會議

【南京一日發】中央執監委員臨時全體會議は今朝九時中央黨部に開會、蔣介石、張學良氏以下四十餘名出席、直に約法問題につき審議に入つたが國民會議に約法提出の件を正式決定の上午後より約法草案につき審議の筈

保護蕃の移住問題
今明日中に決定

【霧社三十日發】保護蕃移住問題は目下霧社分室にて理蕃首腦部參集愼重協議中であるが、移住地なるバイバラは埔里の北二里半の地で水田もあり耕作に適してゐるが保護蕃をこの地に移住せしむるには先づバイバラ蕃の諒解を得る必要あり、五月一日中にバイバラ蕃頭目等を霧社分室に招致し諒解を求め二日回答せしむることになつた、なほ移住地は一人當り三町歩の土地を要し官有地のみでは狹いので民間開墾地を他の官有地と交換するやう目下交渉中でこれは今明日中に成立することになつてゐる、一方保護蕃にも移住の緊要なるを說きこれにより世間の耳目を聳動した霧社蕃の處置も解決することになつた、保護蕃移住後は現在保護蕃善後處置豫算三萬三千圓を有するのでこれにて耕作物の收穫が出來るまで約半年は衣食住總て官給することゝなつてゐる

地方長官會議

【東京一日發】地方長官會議四日目は一日午前九時から内務省に續開、左の諮問をなすはず

政府は本年度において中央及地方に亘り行政、財政、税制に關し根本的調査を遂げこれが整理を斷行せんとす、これに關する各位の意見を問ふ

師團編成の劃一主義を打破
けふ最後案を附議

【東京一日發】師團數を減少するか又は師團の内部を縮小するかは愈々一日午後二時より開かれる三長官會議で最後の決定を見る事となつたが何れの方法によるとしても

一、減ずべき常備兵力量の最高限度三萬名
一、捻出すべき恒久財源一千二、三百萬圓

を整理の目標としてゐる、從つて師團數のみによつて縮小する場合は三箇師團、數を減ぜずして師團の内部を縮小する方法による時は

一、大部分の師團（若しくは全師團）の歩兵を三個聯隊に減じ（現在は四個聯隊）騎兵工兵輜重兵各科もそれぞれ減員す
二、大部分の師團（若しくは全師團）の歩兵聯隊を三個大隊中一個大隊を兵卒を置かざる幹部のみの大隊とし他兵科もこれに準じて減員す
一、一部の師團を混成旅團程度のものに縮小する
一、砲兵航空兵電信鐵道の諸隊を除く各兵科の中隊定員或は小隊數を減ずる等の諸方式の一若しくはこの諸方式を適宜按配した方法による筈である

恐らく兩者の折衷案たる一個若くは二個師團を減少し、一方前記師團内部縮小案を小規模に實行すべく結局三長官會議が執るべき根本方針は茲にあると豫想されてゐるが師團内部縮小案が實現せば宇垣前陸相企圖の師團編成の劃一主義打破が實現し大師團と小師團との區別が生ずる譯でこの場合大師團は兵員中心、小師團は裝備中心とする筈

非募債を固執せず産業振興に努めよ
與黨内の政策轉換論

【東京一日發】民政黨では三大整理の斷行と共にこれと併行して大いに産業の振興を圖るべしとの論有力に擡頭しこれがため黨内に産業振興委員會並に海外政策委員會を設け目下根本方策につき考究中であるが大體において産業の振興のためには從來の非募債政策を固執せず生産的なものは多少これを認めて行く必要があらう、卽ち若槻首相の所謂政治は生物である以上この機會において多少方向轉換をなすべきであるとの說が一部に唱へられてゐる、而して今秋の府縣會議員選擧を控へてゐる事でもあり與黨内の政策轉換の要望は一層熾烈となるものと豫期されてゐる

女政友會
市川房枝

昨年の暮、政友會所屬代議士夫人によつて清和會なるものが組織された。

會長は政友會總裁夫人犬養千代子氏、幹事長は前政友會内閣書記官長夫人鳩山薫子氏で、前閣僚夫人は全部顧問となつてゐる。

以て女政友會と稱せられる所以を知る事が出來やう。

尤も女政友會とはいふものゝ、現在では政治的な活動をしてはゐない。修養懇親を目的として毎月會合を開いてゐるに過ぎないが、幹部の意氣込みはすばらしいもので、近き將來には政治方面への進出をも期してゐる。夫君連中がそれに贊成するか否かは問題だが。

×

どうしてかやうな團體が組織されたかといへば、それは民政黨閣僚夫人の活動に刺戟されたのが直接の原因である。

濱口前民政黨首相夫人夏子氏は獨身であり昔の良妻賢母型でもあつたので殆ど外部的な活動をしなかつたが、そのかはり副總理にあたる内相夫人安達雪子氏は、歴代閣僚夫人中まれにみる活動家で、他の閣僚夫人を引具して、見學に、社會事業に、參政權運動にと發展した。

殊に參政權運動では、昨春、婦人公民權が衆議院通過後に所謂名流夫人によつて組織された婦人同志會に參加し、同會をして民政系婦人團體との烙印を押させてしまつた。

尤も婦人同志會の幹部井上秀子、山脇房子、吉岡彌生氏等には、それ程明確に民政黨を支持する意志はないと思はれるが、同氏等の事大主義が災ひして、結局民政黨に利用されてゐるのであらう。

それは兎に角、こうした會が出來てみると、それは黨派的殺氣の鋭い政友會の連中、默つてみてゐる譯には行かない。その結果が、清和會の組織となつて婦人同志會と相對立し、一般の注目をひいてゐる譯である。

×

政治的に自覺して來れば、婦人にも黨派的意識が出て來るのは當然だらうし、また近い中に婦人が一票の所有者となるであらうことが明になつて來れば、政黨自身、婦人を自黨に引入れやうとするのは無理もないことである。

從つて將來は、民政黨にも、政友會にも、婦人部といふものが設けられることは確だから、女政友會も大に結構であらう。

但清和會が代議士夫人だけに限定したのはまづかつたと思ふ。これでは將來の發展が期せられまい。

尤も現在で、さうした團體をつくれば、結局妻君を集める他ないかも知れない。

無産黨の附屬婦人團體であつても、社會民衆婦人同盟にしても、無産婦人同盟にしても、矢張り妻君連中の團體になつてゐる。殊に社會民衆婦人同盟は最近その會長に安部社會民衆黨首夫人駒子氏を擁し、書記長にはこれまた、黨書記長赤松克麿氏夫人明子氏を選任しさうだから、さうなれば、その點では女政友會と選ぶ所がない譯である。

仙石總裁容體良好
最近病室にて重要社務を處理
近く原拓相と會見

【東京特電一日發】麻布富士見町の自邸において靜養中の仙石總裁はその後引續き經過良好にしてこの頃は主治醫大谷博士も三日に一度往診する位で病室において既に重要社務を見られる樣になつた、右足の疼みが去り次第近く原拓務大臣とも會見する運びとなる模樣である、鍋島秘書役も

お陰樣で總裁の容體は大變よくなりました、この頃は親戚の見舞客と氣分のよい時には一時間半も元氣よく話をされます、モウ心配はありません

と語つた

東北交通委員會の旅大見學團來連
今明兩日各方面視察

東北交通委員會の旅大見學團一行十二名は新民滿鐵奉天公所員の東道で一日朝八時來連、ヤマトホテルに入り十時より埠頭を午餐後滿洲ドックを視察したが午後六時半木村滿鐵理事の星の家における招宴に臨み二日は鐵道工場及び旅順戰跡を見學した上同夜十時發列車で歸奉の豫定であるが一行の主なる人々は左の如くである

路政處長 鄒致權氏
路政處第一科長 程式峻氏
同 第二科長 鄒恩元氏
同 第三科長 廖鴻猷氏
郵電處第一科長 鄭公德氏
同 第二科長 趙大鏞氏
材料購辦委員 關庚馨氏

鐵道交渉打合せに來た
入江公所長談

入江滿鐵奉天公所長は日支鐵道交渉事務打合せの爲一日朝來連したが語る

木村理事が歸社されたので奉天の情勢報告旁々打合せのため來た、高紀毅氏の動靜は報道區々で分らぬが交通委員會では南京に行くだらうといつてゐる、しかし現在北平に居ることは確かである、交渉準備は大體出來上つてゐるが別に急いで始めることもない

兒童體育問題等重要事項を議了
滿鐵初等校長會議

滿鐵の全滿初等學校長會議は一日午前九時から本社會議室にて開催、同日正午終了した、出席者は地方部長、次長、學務課長、衞生課長、各係主任、小學校長、公學校長、普通學校長等約七十名、先づ大森地方部長の訓示あり直に議事に入つた

指示事項

一、學務課事務分掌内規改正に關する件
地方部分掌内規中改正により學務課に學事、教育施設、社會教育、體育の四係を置き視學、社會教育指導員體育指導員を置くことゝなつたので各係に關する說明を爲し今後尚幼稚園家政女學校實業補習學校普通學校等については内容の改善すべきもの多く施設係において下調査に着手するから材料及び意見を提出されたしと希望し

二、兒童生徒保健に關する件
最近在滿兒童生徒の體育は顯著なる發達を遂げたが尚一層進んでこの趨勢助成善導し沿線における體育運動の合理的振興を圖り兒童生徒の健康を保護すべき養護施設の改善を圖り氣候風土を異にする在滿兒童には内地に比し特殊の保健施設をなすことゝし今後會社としては一層體育及保健に關する調査研究を爲すことゝなつたから學校當局者の援助を望むと述べ

注意事項

一、帳票仕樣規程に關する件
一般帳票仕樣規程改正に伴ひ學籍簿、出席簿、成績通知簿、日誌等帳簿類の用紙寸法を規格に合せると共に内容の改善すること

二、小學校施設標準化の件
目下調査中の小學校施設（經費運動面積、機器、器具、備品）につき調査實情につき能率課より說明

三、衞生時事を資料とする衞生教育施行に關する件
兒童の身邊に起りたる衞生時事問題を教材として取扱ふは衞生教育の目的を徹底せしめ且之を實際化する上に最も有效なるが故に各地での發生時事問題、衞生課提出資料につき適宜の時間を設けて說明、話又は演習をなすこと

四、猩紅熱定期豫防注射實施方徹底に關する件
本年度より定期的に豫防注射を實施することゝなつたので承知ありたしと述べ

五、通學區域及び通學列車に對する規定を勵行せられ度き件
列車運轉動車運用に齟齬を來たさぬやう特に注意されたしと希望し

六、學校教職員並にその家族の保健に關する件
學校教職員及びその家族の不健康は直ちに勤務能率の低下となり兒童教育上惡影響あるを以つて注意されたし

諮問事項

一、對校競技改善案如何
現行對校競技は體育向上のため效果なきにしもこれに伴ふ弊害も看過すべからざるものあるを以てこれが實施の可否及び改善に關する考案如何につき懸案であるだけに議論百出したが結局改善して續行すべしといふ意見が大多數を占めた

撫順炭礦の緊縮確定
伍堂滿鐵理事談

去月廿八日夜行にて撫順に出張坑内掘その他の業務視察中であつた滿鐵伍堂理事は一日朝着急行にて歸連したが出迎への記者に語る

別に特別な話もない、今度は坑内掘の實際を視て來たが能率もよく萬事順調に運んでゐる、昭和六年度の營業豫算の緊縮方法に就ても色々調査したがこれも無事確定した

問ふ「撫炭礦の影響で撫順の貯炭が激減してゐるといふ話ですが」と

それは販賣部の方のことだが、今のところ撫順炭として採炭を增加するなんてことはない、しかし仕事が萬事好都合に進んでゐることは何よりだ

沙河口驛で下車した伍堂理事は途中星ケ浦ホテルに立ち寄り直に出社した

羅國議會解散

【ブカレスト卅日發】ルーマニア議會は本日解散を命ぜられた、總選擧は六月一日行はれる筈

水産移輸出高

大連民政署調査によれば管内における昭和五年度の水産物輸出高は日本、朝鮮、臺灣向九萬五千五百餘圓、上海及香港向四十一萬三千六百餘圓、天津、芝罘向一千百餘圓、合計八百六十七萬四千八百餘斤、五十一萬三百餘圓であつた

米領事コ氏歸任

賜暇を得て歸國中であつた米國領事ラングトン氏の留守中これに代つて領事事務をとつてゐた米國神戸駐劄領事コピル氏夫妻はラ領事の歸任と共に事務の引繼を了し一日出帆香港丸で原任地神戸に歸つた

ばいかる丸

二日午前八時大連港外着の豫定

人事

▲堀謙氏（滿業公司專務）一日出帆香港丸にて內地へ
▲中山貞雄氏（前代議士）同上
▲三野茂義氏（劍道範士）同上
▲大平駒槌氏（滿鐵副總裁）左眼充血のため一兩日間自宅治療する由

茶壺

◇…「動物の中で人間が一番よく泣きますが又其中で日本人の子供が一番泣きますよ」とは昨年洋行から歸つた大連醫院小兒科醫長浮田友樹博士の話「成程泣く子と地頭の專制的權力は昔から日本が世界一だつたのですね」と聽いた男は感心したものだ。

◇…博士は優しい子供の小父さんである。刀圭を振る科學者の冷嚴を持つ一方暖かい心のヒューマニストだがこの博士の病院論一くさり。

◇…外國では病院は本來宗教家が設けたもので今でも教會や寺で經營してゐる病院が澤山あります、當時病院は御堂の五倍位あつたもので病人は皆其處で無料で治療を受けられるのですがイタリーなんか今でもお寺經營の大病院があります、ところが日本は資本主義時代に入つてから病院といふものが出來たからでもありませうが日本の宗教家は殆どこの方面に手を出さなかつたのですね。

◇…生に對する彼我の思想が異り日本の宗教家はその代り彼の世に逝つてからの生を救つてくれるのですね……だから日本の宗教家が現世における社會問題に對して冷淡なのは已むを得ません……と聽いた男は感心した。（寫眞は浮田博士）

蛇角

◇雷總裁愈々快くなり、愈々雷を落し始め、愈々大連に乘出し大雷を鳴らす豫定だと、痛快

◇この前に樞密院で毒殺された若槻首相、今度は早くも色目を使ひはじめ、一席を設け藝妓にも援たる觸も。こうなると藝妓も政治には必要品だ。

◇國民會議の東四省代表者は、旅大回收と滿鐵回收を提案するさうだ、ついでに臺灣も朝鮮もと云へばいゝに、やつぱり春さきで氣が變になつて居るのだらう。無理もない。

◇勞農南露に大地震地は傷死者四千人、赤くても、白くても、地震と雷とおやぢはつきもの、天の力も赤を白には出來ぬか。

◇五月一日、メーデーのまれが大連にもちよつぴり動いたこうとした。複雜な國際都市を考へずに、これも日本人だ。

◇孫科、王寵惠氏は南京へ歸らない、戴天仇氏は匿れる。而も國民會議は法定數に達さなくとも開會する反蔣宣言は近々出さうだ。支那名物の亂のいゝ時候になつた。

けふ忠靈塔で 春季招魂祭

人出て賑ふ中央公園

中央公園內忠靈塔の春季招魂祭はけふ一日なごやかな花日和に惠まれて極めて莊嚴に行はれた、景氣を添へる煙火は、早朝から間斷なく打ち揚げられ五月の空を彩る紅白の長旗、五色の吹き流しは田中市長、辛島民政署長、大連神道各教職合會の幟、社團法人一億講の花輪、菱刈軍司令官、三宅聯隊保存會長、厚東要塞司令官、滿鐵會社その他の供物と共に靈前に飾つてゐる。式典は午前十時半から執行された

厚東要塞司令官、高柳中將、岩井少將、久保田海軍駐在武官、辛島民政署長、森本地方法院長、神鞭滿鐵理事、石井大連警察署長および在連現役將校、在鄕軍人、警察官、消防隊署員、青訓生、各中等學校、小學校、婦人團體その他各種團體の參列あり

田中祭典委員長の祭文に次いで遺族總代、關東軍司令官、辛島民政署長、滿鐵總裁、現役軍人代表、岩井在鄕軍人分會長、伊澤傷兵會代表、田中市會代表以下順次玉串を奉奠して拜禮し地下の英靈を慰めた

境內には奉納の柔劍道や柔劍術、鐵扇手踊、支那奇術などあり咲き亂れる爛漫の花、滋みどり燃ゆる楠の若葉と綾なして午後に入ると共に人出は益々增加して行つた【寫眞は祭典と奉納劍道】

學生奉納相撲

南滿工業專門學校、大連商業學校大連商工學校聯合の下に一日午前十時半より中央公園保健浴場横に於て招魂祭奉納相撲を行つた、午前中は商工學校生徒の勝負があり三十四名の選手が東西に分れて戰つたが麗かな春空の下肉搏の壯絕な勝負を行つたがつひに西組の勝利に歸つた、午後一時より商業學校次に工專の東西爭覇戰がある

メーデーを期して ルンペンが策動

忠靈塔下に密集中を 八名檢束さる

勞働階級の國際的行進日たる五月一日のメーデーを期して、大連市社會館宿泊中のルンペン數名が首謀者となり、市中に散在するルンペン群と相呼應して、デモンストレーションを起す計畫中との情報により大連署では豫てこれらルンペン群の行動について內偵中であつたが、示威行列の首謀者達は逸早くも合法的メーデー行進を當局より壓迫が免れんとして、一日朝主唱者は小崗子署高等係に出頭メーデー行進の許可を口頭を以て出願したが、原高等主任は當局の方針として許可しない旨を告げたので空しく退去したが、これら一群は豫ての申合せの如く、正午前忠靈塔下に三々五々集合し、宣傳ビラ、行列用の大旗等を携帶して正午を期して忠靈塔下に集まり、隊伍を整へて、勞働歌を高唱し、連鎖街より常盤橋、經て大連警察署に至り、デモンストレーションを行つてのち更に南山麓より大連神社に至り、デモを決行解散せんとしたが事態を知つて忠靈塔下に密集した、大連署高等係中島警部補の率ゐる、約三十名の警察官の爲めに集合及び行進を阻止され、解散を命ぜられると共に首謀者と看做される、八名は大連署差廻し自動車により直に大連署に檢束連行され、同時に大旗小旗二百本及び「無產大衆に告ぐ」と題するビラ及び行進用の「メーデー歌」の赤色刷ビラ各數千枚も押收された

治安維持法で 嚴重に警告

デモの屆出に對して 小崗子署高等係から

メーデーを期して正午より中央公園忠靈塔を中心に無產大衆の一大デモを計畫しその實行に移らんと着々準備中であつたデモのリーダーたる市內惠比須町無料宿泊所平田平之助等を小崗子署高等係では一日朝本署に出頭を命じて厚く諭して居つたが、同氏は一日朝本署に出頭を命じて本日の集會を中止すべき旨を命じたところ平田氏は折角計畫をして既に宣傳ビラまで撒布してあることであるから運動には法規の手續きをふまなければいかないと注意を與へた上若しも本日治安維持法に違反する行爲があれば斷乎たる處置を取ると共に直に解散を命ずる旨の警告を發したところが平田氏は一應挨拶をしやうと思つて居るが出來るだけ合理的の方法をもつて法に觸れるやうなことはしないとデモに對する諒解をした上引取つた

多數集まつて居る者に對して一應挨拶をしやうと思つて居るが出來るだけ合理的の方法をもつて法に觸れるやうなことはしない

鐵條網で 嚴重警戒

上海佛租界

【上海三十日發】上海租界內外における共產黨、跳梁甚だしく租界當局は共同して連日の如く共產黨員を逮捕しつゝあるが、一日のメーデーを控へて不穩なる計畫ある事暴露したので虹橋租界、佛租界とも非常警戒をなす事となり佛租界では電流を通じた鐵條網を支那街との境界に張り廻らし嚴戒してゐるが支那街一帶は夕刻から特別戒嚴令が布かれ行人の身體檢査中

大連署に檢束されたルンペン

卓球代表敗る

二十九日大阪實業會館に於て擧行されて居る日本卓球協會主催の全日本卓球選手權大會に滿洲代表として出場の河合・保夫兩選手は左記スコアーて第三回で敗れた

▲不戰一勝

▲第二回戰 南九州代表二宮選手を三―一で敗る

▲第三回戰 信越代表駒形選手に三―一で敗れる

十六貫の鐵棒を振り廻す

怪力の大河原梅吉氏來る

頭山滿氏、中山博道氏等の後援の下に氣力體力養成の宣傳尚武の精神の普及を目的として各地を行脚中の群馬縣人大河原梅吉氏(三七)は仁川より海路來連、一日朝本社を訪れ目方十六貫の鐵棒を見事に振り廻してその妙技を示したが身長五尺四寸體重十八貫の氏は語る

鐵長檢査に不合格となつてから發憤し赤城山などに籠つて大自然の靈氣に親しく觸れ心身の鍛錬を續け今日までになりましたがこゝ數年來は病一つかゝらない丈夫さです、體力を鍛へるためにはあらゆる運動をやりましたが、兎に角大切なことは大自然の靈氣に觸れることですと長春まで各地で公演他流試合の求めにも應じますが、興行視されると困りますから誤解しないで下さい、私の身體の特徵は胸圍と腕で胸圍三尺五寸腕の廻り一尺三寸でこれだけは自慢出來ると思ひます、食事は絕對的ではないが菜食主義で、殊に牛肉だけは全然食べません勿論禁酒、禁煙です【寫眞は本社で妙技を示す大河原氏】

自慢の庖丁が祟つて 河豚を振舞ひ落命

第二榮昌丸の中毒騷ぎ

「河豚食つて死ぬ奴はよほど間拔けな奴だ」と市內美濃町田村淸太郞氏所有第二榮昌丸火夫長香川春雄氏(三七)は日頃の河豚自慢が祟り去る四月廿九日芝罘方面に出漁同日夜食の際、得意の庖丁をふるつて河豚約三十四を料理し船內一同に振舞ひ頗る上機嫌であつたが、翌日にいたり急に香川をはじめ船長宮本照房氏(三五)機關長松岡春一氏(三〇)水夫長西山佐吉氏(三五)が苦み出しはじめ河豚中毒と判り一同頭着になつて一日午前一時頃大連入港、直に最寄醫師にかけつけたが、既に香川は死亡し他の三名も全身しびれて重態だつたが應急處置の結果漸く生命を取止める事が出來た

哈爾濱撫順からも 壯擧に馳せ加はる

愈よ三日本社蔡大嶺間往復 フル・マラソン擧行

世界オリンピック大會滿洲豫選會ともいふべき本社主催の本社前蔡大嶺間往復フル・マラソンは愈々三日午後一時本社前を起點として擧行されるが、三十日申込を締切つた結果、大連旅順の一流選手は勿論遠く撫順哈爾濱より參加あり總出場人員三十二名の多數に達し未曾有の盛況を呈するに至つた、從來淸鐵よりの參加を見なかつたが今回撫順哈爾濱よりの參加を見たることは本大會が全滿的大會になりつゝあることを如實に物語るもので撫順の如きは日々堀鐵一郎監督指導の下に猛練習を積みつゝありその記錄伸び行きものあり、非常な接戰と好記錄が期待されて居る參加選手氏名左の如くである

(1)渡邊淸(大連滿鐵)(2)笠松常楠(大連民政署)(3)福好常雄(大連)(4)近藤庄作(大連滿鐵)(5)栗山散雄(鐵道工場)(6)濱田常成(大連滿鐵)(7)中江一男(大連大信洋行)(8)志水政市(大連遞信局)(9)中本義一(國東聯)(10)林三藏(ヤマトホテル)(11)加藤敬二(ヤマトホテル)(12)島本一男(大連)(13)北村義男(大連山本運動具店)(14)山田正吉(撫順)(15)伊藤武雄(大連)(16)初瀨美吉(大連滿鐵)(17)津久美八郞(大連無線)(18)竹內二郞(大連放員)(19)深町秀雄(大連一中)(20)鈴木秀夫(滿鐵)(21)渡邊亀吉(大連會社員)(22)岩勇一(大連商業)(23)佐藤英雄(大連商業)(24)水野卓三(大連商業)(25)八重樫榮太郞(大連滿鐵)(26)關戶年男(大連岩倉洋行)(27)藤勇(撫順)(28)郷仁秀(撫順)(29)花田一彥(大連滿鐵)(30)原澤(大連一中)(31)池田欽一郞(大連一中)(32)宗像金吾(哈爾濱)

尙本社では左記斯界權威者に當日の役員を委囑することになつた

會長 松山本社長▲審判長 岡部平太氏▲決勝審判員 長濱哲三郞氏、山岡信夫氏、林田學氏、沖彌作氏▲途中審判員 安藤忍氏、安藤勝氏、小數賀源一郞氏、堤健次郞氏、中川哲藏氏▲計時員 福元義德氏、松重秀男氏、永谷壽一氏▲出發合圖員 高橋俊夫氏▲引返點審判員 島田行正氏、宮畑虎彥氏、進藤正之氏▲召集員 秋月寅義氏▲記錄員 本社員▲總務員 本社員

露人女白波

鈴木吳服店で萬引

三十日午後四時四十分市內濃町三丁目鈴木吳服店で混雜に紛れ狎二重絹織紋地二十四枚(時價百六十五圓)を窃取し、レンコートの下に手早く隱し馬車で逃走せんとするロシヤ人男女を店員が現認し大連署に屆出た、濃町派出所前で取押へて取調べると竊盜犯人はロシヤ、リスアニア州生れで天津シヤート、ロード街四番地から大連で女中に住み込むため三十日來連し市內奧町二五番地セントラルホテルに止宿中のアニヤコ・フスカヤ・アナスタシヤ(三七)で連れの男は奉天から來連の際汽車の中で知り合つたノウオチンスキー・イワン(三五)といひ共犯關係がないこと判明したので釋放された アナスタシヤは天津に十二歲の娘があり土產にするさて盜んださ警察で申立てゐるが、各國を股に萬引常習の女白浪らしく引き續き餘罪を取調中

海上の學校 練習艦春日來る

陸戰隊、忠靈塔に參拜

我が海軍に特殊の使命を帶びる運用術練習艦「春日」は練習實習巡航の途一日午後零時半青島より入港その七千五百噸の灰色の巨艦を第三埠頭廿八番バースに横付けた

同艦は一昨年以來の來港で小野艦長一大佐を艦長に 高木資雄中佐を副長にその他甲板部に淺泉、宮原兩少尉、四教官機關部に櫻原延谷教官その他砲術運用術航海術等の各教官なせ練習生さしては下士官七十五名、そのうち准士官廿五名で宛然海上の學校の觀があり特に同艦には艦長として實習中の三川軍一大佐の乘組もあり乘組全員六百五十名、賑はしい男性ばかりの笑聲が朗かに五月の空にひゞく 艦長小野大佐は語る

何れも實習の人達ばかりで海軍で必要な事なら何でもやるのですロープの結び方までやりますよ青島から來ましたが二十八番バースに繫ぐのでも正規の敎へた通り實習させたところです今度は大連からすぐ佐世保に行きますが六月には南洋から馬公上海の方に大きな行動を執るつもりです

因に同艦乘組員約二百名は折角の招魂祭に約二百名の陸戰隊を組織し砲術長米山鐵一少佐指揮の下に午後忠靈塔大連神社の正式參拜を行つた

法政學院 基金募集映畫會

『戰線藤栗毛』『砂陣』上映

五月一、二日兩夜協和會館にて

後援 滿洲日報社

通になり切つて校歌のコーラスのうちに出發した、尙この日は來る四日より京都武德殿にて行はれる全國武道大會に出席の高野茂義範士木村、波多野教士等滿洲劍道界の錚々たる連中が船出した

春仁王殿下 本多山へ

講話を御聽取

閑院若宮殿下には御假泊所に靜かな一夜を明せ給ひ一日午前八時自動車にて御發、高野大尉御誘導申上げ御乘馬にて一路本多山に向はせられ羽山大尉より講話を御聽取遊ばし終つて十一時卅分御假泊所に歸着御晝餐を召され午後一時同所御發本溪湖驛を午後一時二十分奉送裡に奉天に向はせられた【本溪湖電話】

學生團で 出船賑ふ

高野範士上洛

一日出帆の香港丸、天長節を中に挾み一日滯泊期間が長かつた故か一二三等共に九分通りの滿員、殊に本船には大分縣國東中學の見學團一行五十六名が河野官職教諭に、大分縣臼杵中學校一行九十三名は河野伊多留教諭に京都府立農學校一行三十名は神部千代松教諭に、三重縣師範學校一行十一名が幸田貞教諭に夫々引率され、憧れの滿洲の土地をめぐりすつかり滿洲

出火原因判明

昨日の朝火事

三十日午前八時卅分ころ市內越後町二番地支那飯店福興樓同び同家と隣接する佐渡町二番地醬油釀造業島本喜代松の境界線をなす板塀附近から發火した火災事件につき大連警察署及び刑事課では出火場所に疑問を抱き關係者全部を大連署司法係に召喚、出火當時の模樣につき各人につき嚴重取調べを行ふと共に發火原因の糾明のため刑事課鑑識係では精密なる火災現場の鑑識寫眞を撮影したが、その結果出火場所は福興樓の臺所に非ずして島本方の鐵力製の煙突が老朽腐敗し幾多の穴を生じそれより燃え上つた火の子が外部に漏飛して恰度板塀一つを境界に福興樓飯館に積まれてあつた松葉に燃え移り火を發したものと判明した

五葉對千歲野球戰

實業團選手安藤三兄弟を中心として組織されて居る五葉商會野球チームでは來る二日旅順關東廳千歲クラブを招聘の上午後四時より實業球場に於て對戰することになつたメンバー左の如し

「投手」田中「捕手」武井「一壘」清水「二壘」安藤(弟)「三壘」津田「遊擊」安藤(兄)池永「LF」中川(若)「CF」立上「RF」富吉

慘殺體漂流

廿九日午前五時四十分頃大連港第四埠頭突端に支那慘殺死體の漂流しつゝあるを發見、檢視の結果本年一月八日帆船夫趙起明の爲め海上で慘殺された曹喜福二九と判明死體は家人に引渡した

人妻家出

瓦房店延年街三重野光男氏內縁の妻河瀨キヤヨさん(二八)は二十八日夫婦喧嘩の末家出大連方面に赴いた形跡があるので三重野氏は一日大連市內各署へ搜査願を出した

娘の家出

市內若松町六大坂喜久治氏長女久江さん(一八)は廿九日午後七時ごろ茶色着物を一枚所持したまゝ家出家族は廿日市內各署へ搜査願を出した

本願寺法要

若草山本派本願寺關東別院にては境內の櫻樹滿開の季節を選び二日、三日の兩日午後二時より本願寺譜記念法要を執行、また婦人會にては二日午後に春季大會を催す

川畑判官夫人

大連地方法院陪審判官川畑源一郞氏夫人靜さん(三二)は去る二十三日早產し大連醫院に入院加療中、三十日手術の結果が惡く一日午前八時死去した、葬儀は二日常安寺に於て執行される害

◇受驗準備講習會 敷島町基督教青年會教育部にては來る五月十日より專門學校受驗準備講習會を開催

天氣豫報 二日 南西の風 一時曇り

干潮 (午前)三時四五分 (午後)四時三〇分

滿潮 (午前)一〇時二〇分 (午後)一〇時三〇分

暗流阿修羅館 (50)

生田蝶介　挿畫　藤井耕達

敵を連れて（十一）

「あれあれ、やつぱり和國太夫は美しい。花の色も急に白く褪せたやうに思はれる」

そのやうに口々に褒めそやして見てゐる人たちに目もくれず、ゆらりゆらりと花の揺れるやうに運歩しさやかに、章信と何か話しながら來るのである。

蔦屋の内儀はかけ上つた。

「樣、章大盡が太夫と來ますぞへ」

「來るか、こゝへ」

「はい、もう櫻の下を歩いておいでなさいます」

「さうか」

と云つて、新左衛門は懷手して座つたまゝ立たうともしなかつた。そして吉野と顔を見合せて微笑した。

「どうしなさんす」

「待つて居れ」

「逢ひなさんすか」

「されば」

「先方からたづねて見えれば、逢はぬわけにも行きませんもの」

「逢つてやつてもよいが、もつとぢらしてやりたくも思ふ」

「避けてばつかり居なさんすと見られても心外ではありませんか」

「はははは、さう思はれるのがお身の肩身を狹くするであらうか」

「なんの、妾はそのやうなことは何ともおもひませんけれど、一度は蔦々とこなさんの立派なところを章大盡に見せたいもの」

「その心はよくわかる、ありがたい。が、また時機が來ないと思ふ。時が來たら、その時こそ、この廓の大門を閉めて、この仲の町に大蛇小蛇を敷きつめられて、名目だけの大盡でなくて、大盡らしく會見しやう」

「して今日は？」

「逢ふまい」

「あ、下が騒めいてゐる容子、來ましたぞえ、來ましたぞえ」

「さうらしいな」

新左衛門は、はじめて立ちあがつた。

燗酒たちは、ばらばらと騒々しく梯子段を下りて出迎へに行つた。

内儀があがつて、そのあとから和國太夫、つゞいて章信が幇間たちに取巻かれてあがつて來た。

「あら」

内儀は口のうちでさう云つて、一寸目を圓くした。

吉野太夫は片膝たて、懷手を寛濶に、格式會釋をして、和國太夫とにつこり笑を交した。

内儀の招じた席についた章信は其處に、目の前に座つてゐる男を見た、

今日三河大盡は田舍侍の風に化けて廓に入り込んだときいたが、なる程、田舍侍といふよりは、着物も羽織も、袴もひどく汚れ切つた、紋なども茶色にさへ見えるほどのひどい物を着てゐる。そばへ近づいたら、さぞ臭いであらう。それに、頰から顎のあたりへかけて髯のちゞむさゝ、病み上りのやうである。

（なんだ、この人か）

たとへ田舍侍に化けて來たとはいへ、吉野太夫も吉野太夫である茶屋にあがつてしまへば、着物を着かへさせ、髭位は剃つてやればいゝに。

章信はさう思ひながら、もう内儀が紹介してくれさうなものと、何時まで待つても引合はせてくれず、たゞその男と睨み合つてゐるばかりでもあるまいと、如才のない章信、

「初めてお目にかゝります、私が狩野章信でござります。常日頃から貴殿のお噂を承り一度は拜顔の榮を得たいと存じて居りました、今日お目にかゝつて年來の悦びを果しました。このやうに押かけて來ました御無禮、不通の奴とお許し下さい」

中村歌扇一座 讀者觀劇會

愈よ二日から大劇で

讀者は各等優待割引

愛劇家から白熱的期待を以て迎へられてゐる女優中村歌扇一座は名女優市川榮升及び帝劇出身の舞踊名手藤間園子を特別加入した東京歌舞伎は既報の如く二日入滿のばいかる丸にて華々しく來連し同夜より大連劇場に出演するが、本社販賣部にてはこれを後援し中村歌扇一座を廣く紹介すると共に本紙讀者觀劇會を催し本紙刷込み優待券持參者に限り特等二圓、一等一圓五十錢、二等一圓を特等一圓五十錢、一等一圓、二等七十錢に割引する【寫眞は御目見得狂言「紅葉狩」の歌扇の鬼女と榮升の維茂】

人氣を集め 愈よ今夕から

法政學院の映畫會 協和會館にて開催

滿洲法政學院在學生同窓生主催大連滿鐵社員倶樂部及び本社後援の法政學院基金募集映畫會は愈々今明日の一、二日兩夜七時から協和會館に於て開催さるゞがワーナー映畫社の二大特作品「砂陣」及び「戰艦髑髏」を選び映しファンの興味をそゝつてゐる會費は一般一圓であるが、本紙刷込み優待券を持參すれば七十錢に割引するから優待券を利用して二大特作品を觀賞されたい

銀鈴少女會の 舞踊大會番組

ナターシヤ孃も特別參加

三日晝夜二回公演

來る三日の公演を眼前に非常な期待を以て迎へられつゝある銀鈴少女舞踊大會は別項プログラムの外にナターシヤ孃（本年九歳）の舞踊をも加へる事となり樂器伴奏には本格的にE夫人を煩はし又舞臺裝置には西村尚樹氏が專ら當り童謠舞踊に適はしいモダーン味を多分に含んだ舞臺面を見せる趣向である、又照明方面では初瀨氏の指揮の下に八個の照明機を使用して茲に一大綜合藝術を現出せしめるべく努力してゐる

第一部 ▲ルッシアンダンス 高木喜代子、加茂智惠子、玉置政江、北村美知子、太田保枝、直井睦子▲待ぼうけ、藏掛清子▲アンプレラダンス、高木喜代子、栗原眞砂子、栗原俊子、加……

第二部 ▲フラワーダンス……

第三部 ▲童話劇「案山子」……

基金募集映畫會

讀者優待割引券

五月一、二日兩夜協和會館にて

この券持參者は七十錢に割引

主催 法政學院同窓生

後援 滿洲日報社

二日から大連劇場で、

中村歌扇觀劇會

この券持參者は特等一圓五十錢、一等一圓、二等七十錢に割引

後援 滿日販賣部

本社特選 新棋戰

平手先六段 △小泉兼吉

六段 ▲飯塚勘一郎

土居八段講評

萩原六段解説

ウエルビー自動運搬車
五馬力型より貳拾馬力型迄各種
(一九三一年式)
關東廳認可免許證不用
(カタログ進呈)
滿洲總代理店
西岡茂次郎本店
大連市伊勢町四 電話八〇九七番
支店 沙河口仲町二 電話九二五〇番
眼鏡は眼鏡專門店で……
檢眼室も完備して居ります お眼に合ふ迄念入りに作製
眼鏡專門店 清眼堂
大連連鎖街京極 電話二二五八
新聞の購讀御申込み其他配達上の御用命は電話(晝間)四七六七番 (夜間及休日)二一三二四番
車軸油
營業品目
揮發油 石油 機械油 重油 車軸油 植物油 魚油 サラダ油 油類一切 テキサコルーフイング、ピッチ 龍印ボイラーグラハイトペイント
大連市紀伊町五五番地
合資會社 矢野元商店
電話七八四三 一五三八番
絶對御客樣本位
一九三一年人氣を博せる瑞西ジュラッシア蓄音器新型
◎十ケ月◎月賦提供
NO・A−12型新製 ¥70・00
輸入元 大連市浪速町伊勢町角 榮商會本店
電話八三九〇番 振替大連四一四七番
買て安心 賣て安心の器械で御座います 本器な試聽せず蓄音器を求めるゝは早計です
各地申込所

有島武郎全集

第三回配本開始

燦として輝く人格の藝術

有島武郎氏こそは眞に「文豪」の名に値する文豪であつた。生活と藝術とが完全に合致した偉大な藝術家であつた。眞理に對して彼程獻身的であり、眞率であつた小說家は、現代日本に於て、叉世界に於ても、眞に類例の少ない人であつた。晚年に於てその思索の方向が、漸次大衆の動く方向と合致せんとしたのも、その眞摯さと偉大さのあらはれといふべきだ。有島氏の作品こそは、永久に輝く珠玉である。

彪然七百廿餘頁の大冊

有島武郎全集第一卷目次

長篇小說　或る女

短篇小說　親子　骨　或る施療患者　酒狂　半仕者　星座　運命の訴へ　生れ出る悩み　石にひしがれた雜草　「死」を畏れぬ男　動かぬ時計　小さき者へ　迷路　凱旋　實験室　クララの出家　カインの末裔　平凡人の手紙　南踊　フランセスの顔　お末の死　宣言　幻想　An Incident　西方古傳　中日　かんかん蟲

童話　火事とポチ　片輪者　僕の帽子のお話　碁石を呑んだ八つちやん　溺れかけた兄弟　一房の葡萄　燕と王子(翻案)　眞夏の夢——ストリンドベルヒ——

戲曲　聖餐　御柱　ドモ又の死　サムソンとデリラ　大洪水の前　死と其の前後　奇蹟の詛ひ　小さい夢——ガルスウエーシー——

詩歌　ホヰツトマン詩集　譯者小序(第一輯)　譯者小序(第二輯)　ワルト・ホヰツトマン年譜　第一輯　第二輯　ワルト・ホヰツトマン　醴なき眼

選擇自由　申込金不要　內容見本進呈

四六倍判天金附　布背ポイント八

今日迄發表したる作品全部を收容す

裝幀　中川一政畫伯

定價各冊貳圓五拾錢(送料各册六錢)

第一回　石川啄木全集　全一册

好評嘖々・重版叉重版

第二回　山本有三全集　全一册

東京芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二

科學画報　五月號

寫眞を中心に最新科學の進步が一目で分る此獨特の編輯を見よ

鮮明無比なる寫眞　最近のアインスタイン▼透過光線が描く世界▼純國產の輸送用飛行機▼人工太陽燈と動物▼米國海軍の航空母艦▼孵化の神秘卵から雛▼女人パラシユーター▼横断飛行中のDOX

中心の一大讀物　海軍航空船の新記錄▼變つた自動車色々▼ロボツトの賣子▼最新航空界展望▼飛行船用新方向表示機▼新式の石炭補給塔

毒瓦斯恐怖時代　陸軍少佐　岩崎民男

戰線のみでなく、都市も田園も一度其襲擊に會へば、生きながらの地獄境を現出する其威力！方に之れ現代の一大恐怖！

最新世界知識

空間と深海への征服　菊池麟平

獨逸で流行の裸體運動　宮武

爆發せない航空船ガス　牛澤正三郎

現代スピード較べ　妹尾太郎

新しい牛乳の滅菌裝置　衣笠

精巧な裁縫ミシン　木藤一雄

支那最古の人類の遺骨　早大教授　西村眞次

最近人類學界の問題となつてゐる支那河北省で發見された最古人類の新研究

自然界ニユース

化石になつた雨と波　柴山雄二郎

ナルホエ火山の奇觀　渡邊萬次郎

猿のモダーン進出　竹井健藏

酸素のない湖水生物　宮地傳三郎

耳はなぜ音を聞くか　正木不如丘

血友病とは何か　夏井緣

地球・生物の進化　早坂一郎

探偵科學講座　高田義一郎

テレヴイジヨン講座　中上豊吉

誰にも出來る實用記事

誰にも出來るトリツク寫眞　山教正

家庭用トーキーの作り方　荒井南雄

模型バンガローの作り方　渡邊軍治

誰にも分る五月天象の見方　水野良平

定價一册六十錢　送料金三錢

東京神田錦町一ノ一九　振替東京二三九九六　科學畫報社

科學文明の驚異

現代機械文化の大鳥瞰

果然怒濤の如き歡迎!!　品切中の處再版愈々出來す

出版界不況のドン底に此破竹の賣行は何故か。それは本書が萬人の求めて求め得なかつた劃期的の內容を具備してゐるからだ。見よ。誰でもアツといふやうな珍奇最新の寫眞を中心に展開する最新機械文化の不可思議の世界を、記述は平易、印刷は全卷アート・ペーパーを使用してあるから鮮明無比、一見何人をも驚殺し魅殺せずには措かない。

近代科學の生んだあらゆる種類の機械、機械が齎らした新しい寫眞と共に紹介され一目にして機械時代の諸相を知悉し得るやう編纂されてゐる。運河、燈台、發電所よりテレヴイジヨン、トーキー、航空機、ロボツト等に至る項目四十、夫々專門家の解說を附し、アート紙に印刷され時代にふさはしい書物である

東京日日新聞評

書店で是非現品御覽ください

內容見本　ハガキで申込次第進呈

體裁と內容

▼體裁　四六倍版總頁數二百六十頁、本文九ポイント、總ルビ附

▼用紙　本文全部上質百廿斤アート、ベーパー使用

▼印刷　全部寫眞版印刷法により鮮明を期す

▼寫眞　寫眞の總數一千五百、何れも鮮明無比

▼裝幀　最新式の技術

定價一圓五十錢　送料內地十六錢

東京神田錦町一ノ一九　科學畫報社　振替東京二三九九六

タイムス版　獨語基礎單語四〇〇〇

本書の特長

一、極大の利用價をもつ四千語のＡＢＣ配列

二、基礎單語四千語より派生された一萬有餘語の項目別分類排列

三、强變化及不規則變化動詞表の添付

四、追加單語記入欄の設置とフオネチツクサインの採用

五、價格の至廉

慶大獨逸語教授　小宮豊隆・木下杢太郎　著

三六判上製五〇〇頁　壹圓三拾錢　送料十八錢

詰込主義を排して實力のつく本書を使用せよ

單語の文法的處理と文法の新記憶法

タイムス版　獨逸語文法整理ノート

新刊　大島桂吾著　三六判一五〇頁　八拾錢　送料六錢

東京市麴町區有樂町二ノ四　振替口座東京六〇〇三一　タイムス出版社

新天地

五月號(三〇錢)

帝國主義の調整◇滿洲と其黎明期に於ける外交……(ヒー・エイチ・クライド)

支那は外欵救濟の見込なし……(ブリンソン・リー)

國民會議の開かれるまで……(牛山樓)

血迷へる張繼……(船橋生)

經濟危言……(川合正勝)

如何にせば滿鐵を政變の外に立たしむるを得べきか……實現に對する疑問五個條……(山崎元幹)

在滿識者の意見に聽け……(田村羊三)

政務と事務とを分界せよ……(村田懋麿)

在滿議員協議會の提唱……(花田欽三)

總裁のみ政府の任命……(山路新六)

滿鐵評議會に代ふるもの……(竹田哲彦)

滿鐵甦生策として社事を社員より任命せよ……(岡部勇)

全理の確立が先決問題……(宮崎正義)

國論の統一、國策ロシアの文學的政策……(ケルジエンツエフ)

面壁妄語……(鞋齋生)

藝術派の最後の型……(大谷武男)

母逝いて三年……(秋山昌男)

創作、人類の大家族……(ロマノフ、佐藤進平譯)

子供……(アウエルチエンコ、高橋輝正譯)

心ゆかしい醜業婦……(コツペエ・長谷川泰造譯)

大連市楠町七四　新天地社(電話七八二二番　振替大連三四四番)

日本語から支那語への道

日本語は斯うして支那語に譯しませう

の姉妹篇

陸軍大學教授宮島吉敏先生序文

中谷鹿二先生著

四六版總クロース　箱入美本六百頁　價二圓三十錢　送料十二錢

「鳥渡斯ういふことを支那人に話したい」とか「こんな日本語を支那語に譯したい」と思つてもそれがすらすらと胸に浮かんで來ないで困るのが支那語研究者の誰もが抱く共通的の悩みであると同時に支那語研究道程上にける關所である。本書の著者は此共悩を征服せん事に積年の努力を重ねて嘗て「日本語は斯うして支那語に譯しませう」を公にせしが爾來其續篇を奮ふこと茲に四歳遂に完成せるが卽ち本書である。本書の內容は必要にして而かも邦人の至難とする語句數百例をイロハ順を以て排列し著者獨特の筆法を以て一語一句をも忽にせず譯述し且つ難句には一々應用例題を示して一刀兩斷的に解決し更に四聲の變化を詳說し加ふるに卷尾に附するにローマ字の答案發音表を以てせり故に發音譯法四聲及び其變化の應用等に一目瞭然宛然坐ながらにして良師に就きて學習するとと同一なり本書收むる所の問題六百有餘之れに應用例題を合すれば實に約一千數百の必要なる語は卷中に網羅せり眞に之著者數年間の苦心の力作結晶は書中に躍動す敢て斯學研究家の購讀を切望す。

和文華譯講義　日本語は斯うして支那語に譯しませう　定價貳圓五拾錢　送料拾四錢

發兌　大連市浪速町(振替口座大連五五番)　電話(代表)五一八八(事務)五七九〇番　(分店)大連市連鎖街電代表五一一一番

賣捌處　(本店)東京(支店)京城・奉天・旅順　大阪屋號書店　全滿各地書店

生徒募集

英語科、速記科　英文タイプライター科　邦文タイプライター科

監部通九六北側裏　英學會　(規則書要郵券二錢)電話四三〇八

外交時報

五月上旬號(毎月二回發行)(定價五十錢　郵送料二錢)

卷頭言

外交の貧困　信夫淳平

滿蒙權益と自衛權　稻原勝治

獨墺關稅條約の波紋　長岡克曉

御都合次第の國民會議　葛岡常治

英國自由黨內紛問題

羊頭狗肉の減稅　坂本俊篤

倫敦條約の再吟味　尾崎剛

陸軍縮小問題の論爭　成田篤

獨墺關稅同盟と「合體」　卿市厨

獨墺關稅同盟檢討　柳澤愼之助

ソ聯邦五年計畫　妻二峰一

米國對外策の轉機　鹿島守之助

ビルマクスの同盟協商政策　中野登美雄

立憲主義と機密費

西班牙の革命

外交時報社編　支那關係條約集　(總六號約九百頁)定價五圓

附、宣言覺書聲明取極議定書網羅

立博士松原一雄　米田實博士　最近世界外交　價五圓半　送料廿錢

國際條約集　價八十二錢

東京市麴町區中六番町　振替東京五一八六八番　外交時報社

◇目要載掲◇

突支棒の戀……長谷川伸

討つ人討れる人……國枝史郎

善惡大黑天……伊藤松雄

監獄部屋……里村欣三

人斬ばやり……土師清二

南滿洲開發の側面史　前人未踏の大長篇　小說滿洲……江蓮山平

斬られ行左太源……服部泰三

ハルビン記……網野菊子

雨夜……渡邊均

愛……須藤鐘一

歐洲大戰餘話……大竹鳳一郎

獨特の街歌・時評・劇評・映畫

大衆文藝

日本唯一のワガマヽ雜誌

5月号發市　50錢

大衆文藝社　東京京橋銀座西六丁目　電話銀座二七八三番　振替東京二六三九一

高級實務算盤

大連市大山通り浪速町角　滿書堂文房具部　電話四九九四四〇三〇六

小兒科專門　金子醫院　醫學博士　金子甚藏　大連西通七八◆電七六六一　電車通西廣場前ウキト◆

內科　產科　婦人科　佐志醫院　大連敷島町西電車停留場南　電話六五〇二番

株式會社　正隆銀行　本店大連　頭取安田善四郎

最新刊

大阪屋號書店　大連市浪速町

與謝野晶子著　隨筆街頭に送る　賣價一圓五十七錢　送料十錢

室伏高信譯　カイザーリング著　綜合アメリカ論　賣價二圓十錢　送料十二錢

武者小路實篤著　二宮尊德　賣價一圓三十六錢　送料八錢

谷崎潤一郎　川柳漫畫　いのちの洗濯　賣價一圓八十九錢　送料十二錢

黑田禮二著　廢帝前後　賣價一圓八十九錢　送料十二錢

サントス・カサユー著　社交ダンス　賣價一圓　送料六錢

吉川英治著　戀ぐるま　賣價一圓五十七錢　送料十二錢

賀川豊彥著　一粒の麥　賣價一圓三十六錢　送料八錢

鶴見祐輔著　母　賣價二圓十錢　送料十二錢

朝日新聞社著　朝日經濟年史　賣價一圓五十錢　送料十錢

山中峯太郎著　九條武子夫人　賣價二圓十錢　送料十二錢

櫻井忠溫著　村に歸る　賣價一圓八十九錢　送料十二錢

江戶川亂步著　蜘蛛男　賣價一圓五十七錢　送料十錢

佐藤紅綠著　富士に題す　賣價二圓十錢　送料十四錢

前田河廣一郎著　資本シンクレア　賣價一圓五十七錢　送料十錢

大日本雄辯會講談社著　挨拶十分間演說集　賣價一圓八十九錢　送料十錢

滿書堂書籍部　大連市山縣通

最新刊

大阪屋號書店　大連市浪速町

大谷光瑞著　世間非世間　賣價一圓二十六錢　送料六錢

金丸精哉著　母國の友へ送る書　賣價二十五錢　送料二錢

小笠原長生著　春うらゝか　賣價一圓五十七錢　送料十錢

松本龜次郎著　漢譯日本文典　賣價一圓八十錢　送料十二錢

滿鐵調查課譯　支那農民の北滿殖民と其前途　賣價四圓　送料十四錢

三浦倚史著　架構の建築解法　賣價三圓三十六錢　送料二十七錢

奈良正路著　入會權論　賣價三圓六十七錢　送料十六錢

上野陽一著　事業統制論　賣價一圓八十九錢　送料十二錢

サントスカサニー著　社交ダンス　賣價二圓　送料八錢

佐々木俊郎著　街頭偽映鏡　賣價一圓五十七錢　送料十錢

石濱知行著　最新書式寶典　賣價一圓五十錢　送料十錢

野澤嘉哉著　運鈍根で行く　賣價一圓五十七錢　送料十錢

小林多喜二著　東倶知安行　賣價三十一錢　送料六錢

南條龍吉著　銀市場と銀相場の研究　賣價一圓五十錢　送料六錢

森川勉著　處世心得　賣價六十三錢　送料六錢

朝日新聞社・昭和六年　運動年鑑　賣價一圓五錢　送料十錢

村松梢風著　南華に遊びて　賣價一圓八十錢　送料八錢

石丸梧平著　人生の意義　賣價七十三錢　送料六錢

橋本賢著　少年日本地理文庫　關東州南滿洲　賣價一圓五十七錢　送料十錢

強い支那側
強い強い滅法に強い
このごろの對日態度

感慨を膨らかしたさかで一艦延ばした重光代理公使、細雨そぼ降る今朝（廿一日）九時しよんぼりと歸朝の途についた、相變らずむつゝり然、たゞ「直歸つて來る」とだけ言葉を殘して

×

果して直お歸りが出來るか如何か、少しは長引いても、都合じおり代りになつても誰も文句を言ふ者はゐまい、そんな歸る歸らぬよりも長引く長引かぬよりも此何よりも望ましいのは王正廷君に背負ひ投げを喰はした由來の顛末を出來るだけ率直に我が幣原外相の前にぶちまけて貰ひたい事だ、いくら氣の長いそしてお人好しの幣原外相だとて王正廷君乃至國民政府最近の言動を如實に知つたら何さか考へ直すだらう、假令幣原外相が考へ直さなくつても返り咲きの冴え切つた若槻首相の頭には何さか響きを與へる筈だ、さうして何さか目先を變へてくれなくてはこのまゝでは對支外交眞ッ暗闇、相手の立場が當座益々納まり返つて居られさうなだけに今に手のつけられぬものになつて了ふだらう。

×

兎も角強い、滅法に強い、國民政府の對日態度、流石強情な重光代理も內心必ずや啞然たるものがあるに相違ない、既に假調印まで濟ませながら例の青島、佐世保間の電信協定はそのまゝ海底深く沈められて了つた、南京、漢口兩事件も一度は償額まで極めながら最後の所で尻を向けられ此外大の虫を生かす爲めにさばかり放つたらかして顧みられないものに滿蒙鐵道問題、通信機關問題、南北各地に於ける當局者の放言問題等々あり時が時ならそのどれを捉へたさころで一泡吹かすに充分のやうだが泡は反對に此方から吹いて了ひ足許から鳥が立つやうな今次の召還歸朝だ、例の法權交渉に至つては幸ひにして手古摺つてゐるもの獨り日本ばかりではないから大して目立ちもせぬが言ひ出せば之れさて頗る不味い切り出し方でごうにも引込みがつかないといふのが實狀だ、以上重光代理を中心さしてのものだが瞥見した譯だが之等以外に命取りの滿蒙交渉が蟠まつてゐる事は先刻御承知の通りである。

×

然らば南京政府の當事者は昨今對日交渉に關し如何なる見解を有して居るかであるがこゝに絶好な材料――最近上海の各有力紙が一齊に載せた外交部某要人の談話なるものがある。外交部某要人談＝中日法權問題及、他の重要懸案に關する交渉は最近言ふに足る程の進捗を見て居ない、これは日本現內閣の外交が柔性を帶び何事によらず痛快な解決を望めないことに因るものであるが中國側に於ても同國最近の政局に鑑みて諸懸案の解決交渉を強て督促するやうなことは控へてゐる云々

何さ愉快な話だらう、從來の例からすれば外交部要人といふ以上部長か下ッ端の所で司長級の所の筈だがその部長が司長殿が假令非公式とは言へ幣原外交に對して眞向から軟弱呼ばりを浴せかけ政局の不安定（尤も若槻內閣出現直前だつた）に思ひ遣りを下し置かれて居る始末なのだ、此の幣原外交に對する逆手の宣傳は最近張繼君が在北平の某武官に對つて放言したといふ「自分は三十年來の親日家であつたが今回＝滿洲＝方を一巡するに及んで今や愛國心の勃發を禁じ得ない」云々と共に記者の殊の外興趣を覺える所のものであり同時に何が彼等をしてそれ程までにつけ上らしむるに至つたのか？篤と考へて見たいと思ふ次第である。（未完）＝上海＝森特派員＝

八相

乞食の取締り

大連　岩代町住人

◇乞食の取締りといふ投書に對して一齊取締りを行ふべきこと都合によつては山東方面に送還することを等の警察當局のお答へがのせられてゐたが、從來長年月の間乞食の取締上に何等の實效も見えぬところからみると警察當局のこんどのお答へも單なる口舌文章のみに終りはせぬかとの危險を懷かざるを得ない。

◇聞くところによれば沙河口方面で浮浪者から癩病を傳染されて近來いよ〳〵病體になりつゝある人があるといふことである、これは單なる一個人の問題ではなくわれ〳〵大連市民全體に掩ひかぶさつてゐる不安であり、癩病患者を浮浪に任せてゐる警察當局の重大責任問題である。

◇私は警察に對して月に何回となく絶えず乞食浮浪者の一齊狩りをして山東方面に送り還し一ケ年に二度や三度の送還ではなく來ればその場で返すやうな方法が講じていたゞきたいと思ふ。

投書歡迎（十行以內）（匿名は中さらず）

お答へ　乞食浮浪人の取締りについては當局でも實は困り抜いてゐる、山東の方へ送つたこともあるが送つても向ふの官憲から又直ぐ送り返されて來る、沙河口の癩病云々のことは私は聞いてゐない、乞食の取締りや癩病患者の處置について　關東州內には何等の施設がないのであつて乞食を一齊狩りしても收容する所も送り屆ける所もなくまた癩病患者を收容療養する機關がなくては警察としても徹底的取締りのしやうがない有樣である、何さかして適當な方法を考へたいものだと思つてゐる次第である（大連警察署長）

支那の神佛と聯（二）

辻　忠治

仙人洞といふ小祠が方々にある。不圖洞內を覗いて見たら、胡太爺と云ふ神が祀つてあつて、道傍の店にも胡太爺の畫像が、澤山並んで居た。面白い事と思つて、少し許り研究して見た處、其お導きによつて、色々の神に巡り合ひ、少からず智識を得る事が出來た、此處に胡太爺を第一に掲ぐる所以である。昨日も洞の前に額づいて居る老婦を見て、常に神への信心を缺かない人は、先に行つて救はれると言つたら「對了、熱也熱不着冷也冷不着、餓也餓不着、渇也渇不着」と答へた。一枚の胡太爺を買つて來て、床の間に供へた時、爺の前に叩頭して居るあの老婦の影が目に映つた。

仙人洞

今作　間一世仙、昔左深山修道業、胡爲乎不行其善、仙在此早變爲心、と此は胡太爺を祀つた仙人洞の聯である。奉天城內の四隅及び城外四隅の壁に接して、各四つの大小祠があり、祠の兩側から城壁にかけて「有求必應」の額が無數に懸けられて居る。此祠は仙人洞と云ふので、其中に祀つてあるのは、胡家一族を主とし、續いて黃家である。胡家は胡大太爺から二太爺三太爺まで三人の兄弟があり、それに胡太々を加へて四人ある。胡爺は、獨り洞內に祀られるのみならず、財神廟でも、娘々廟でも、關帝廟でも、眞武廟でも、其一隅に此爺を祀らないものはない、可笑しいのは、白衣寺と云ふ佛寺にもある。それ丈け靈驗著るしく凡そ道教の道觀といふ道觀、或者は金を儲けさせ、或者は子供の病氣を治して呉れると賴まる。如何た願でも叶はぬ事はないと云ふので、民衆的信仰の中心となり、廟前常に香の煙を絶たない。さて此胡仙の仙像は、如何なるものであるかと云ふと、關帝の如く、火神の如く、大きな威めしいものでなく、至つて小さな、而して清朝の官服、即ち帽に孔雀の尾と赤紐の飾のある、胸に四角の鳥獸の刺繡のあるものを被た、美髯の好々爺である。太爺二爺は、年長けてゐるが、三爺は至つて若い、但し城の東南隅、及び東北隅に祀つてある太爺太々は、變つた服裝をしてゐる、中には白馬に乘つたのもある。信仰の厚いだけ、此を玻璃畫にし、前に聚寶盆と云ふ金銀財寶を積み重ねた盆を書き添へ、張仙（子供を護る仙人で、金彈打出天狗來、玉弓引進子孫來と云つて、弓を以て、惡鬘天狗を追ふ畫）と並べて到る處に賣られる。

先づ城の東南隅にあるものから言へば、此處は、大太爺を正位としたもので、城內にあるものは、張大帥以下の施捨により、堂々たる廟觀をなし、堂內の仙像も、尊嚴を極めて居る。決して城外のそれの如き小祠でない。去去又何求慈母康疆遊子健、行々無以報一聯泥爪鴻香心、とある一聯の間を通ると、巖窟の下に、大太爺を中央にして、左に順に二爺三爺、太々を中央にして、右に二太々三太々と居並び、兩側には、大太爺馬上の像と、少爺（大太爺の子）の像とがある。而して堂前には、默通靈感、仙恩普照、仙靈默佑、感果叨恩、靈昭＝新等の頭額が無數にあり、中央張大帥の有感斯應の四字特に目立て見える。其側に、五將軍殿とあり、察するに、黃天霸、黃天佑、黃天樂、黃瀾氣、黃天英の五將軍ならんも、未だ其像整はず、纔に萬舳王、千舳王、項上王、火龍王、九仙女等の畫像が並べてある。

◇…最近イタリーの探檢家マスチユルジ大佐及びフランスの女流作家チタイナ夫人がカリフオルニア灣內にあるチブロン島を探檢した所同島に極めて珍しい土人の一團が居ることを發見した。

◇…此の土人は今より約二百年前にスペインのメキシコ總督から此の島に放逐されたもので其の當時は約三萬の人口であつたが今では次第に減少して僅かに百六十四名生存して居るに過ぎない。

◇…此の土人はペリカンが世界を創造したものであると信じて居り太陽や月を信仰し常習的に賭博を爲し嫁入の際には弱い子供や片輪の子供を殺す習慣を持つて居る又此の土人は家を持たず生肉を常食とし僅かに腰の周りに皮か布を纏つて居るだけである。

◇…男の平均身長は六呎であるが白人を嫌ふことは非常なもので數年前或探檢隊が此の島に來て二人の土人の子を連れ歸り教育を施して島に歸した所忽ち殺されたさのとである

◇…女子が成年に達するさ非常な御祭騷ぎをやつてその子が嫁入の準備が出來たことを披露する。さうするさ村の若衆が其の女の醜によつて百圓から百五十圓の間で嫁の入札（？）をする。父親は其の最高額のものに嫁にやるのである。土人にとつては此の金は仲々大金であるが之を集めんが爲めに若衆は眞珠貝取りをして之を貯蓄するのである。

◇…此の島には淡水がないので水が呑み度くなれば土人は水分の多いサボテンの木を叩いて其の汁を吸ふ。弱い子供や片輪の子供は生れると直殺して了ひ丈夫な子だけを育てるのであるが之を判斷するのは土人の中に居る一人の醫者で此の醫者はつまり生殺與奪の權を持つてゐるワケである。【メキシコ市發】

撫順炭坑秘話

……（16）……

撫順炭礦「爭奪戰」
卅三株の行方

平佐二郎

ナデージダ孃さそれからそれへさ色々話したりしてゐるうちに永い夏の日は暮れて行きました。そして短い夏の夜は直明けました。夜の明けたさきこそ、紀共の二人の主人を慴しい金孃は綠の白樺の森を去つて、血を好む黑い流れのアムール河に黑い煙を殘して流れに從つて去りました。彼等は松花江を遡つてハルピンを通つて南に向つたのであります。

當時ルビーノフ中佐と紀鳳臺との二人の經營する撫順採炭公司と其の隣りの王承堯、翁壽、吳凱等の支那人の經營する千金寨の炭坑即ち當時、華興利公司と稱してゐた資本金十六萬兩の會社　色々の事で衝突して居りました。此の事は前にも紀鳳臺の話として幾分申上げて置きましたが、要するに紀鳳臺が東方の礦區の持主たる翁壽、顯之榮等の尻押しをして餘りに西の礦區の王の一派を苦め、其の揚句の果てには暴力に迄訴へたので華興利公司は、終に東清鐵道の勢力を利用してルビーノフ中佐一派の勢力を押へやうと云ふ決心を定め、露清道勝銀行の買辦吳會臣を賴んで話しを進めたのでありました。華興利公司の資本金十六萬兩の中の六萬兩は實に露清銀行の出資なのであります。露清銀行は、言はずと知れた東清鐵道の親銀行で其の株主にはロシヤの皇族が多く、其の上、東清鐵道から云はせれば撫順の炭坑は當然鐵道の直營に屬すべき原則であると解釋すべきものであります。ルビーノフ中佐がアレキセーエフ中將の極東に於ける一大勢力を巧に利用して此の東清鐵道と露清道勝銀行の抗議を一蹴しやうと畫策したのは誠に狡猾な思ひ附きと言はねばなりません。兎に角、撫順の二つの炭坑はロシヤのハルピンより旅順大連に至る東支鐵道の南部支線の建設を動機とし、時の盛京將軍增祺から特に時代の趨勢に鑑みて、陵墓の風水の害を云々する頑迷の徒の反對を押切つて西太后の御裁可を得たもので除累後、僅かに一年もたゝぬ當時でありますから何かにつけて色々の問題が起りつゝあつたのは決して無理なことではありません。

アレキセーエフ提督の名が廣く日本に知られたのは北清事變の際であります。北清事變の五年程前に太平洋艦隊の司令長官として暫く浦鹽斯德に居たこともあります噂によればアレキサンドル三世の落胤でニコライ二世皇帝さは血の續いた兄弟であるさも云はれて居ます、兎に角、ロシヤの海軍の中では、指折りの陰謀家でありました。ロシヤが、獨逸の膠州灣占領を唯一の口實として旅順、大連を占領した翌年、アレキセーエフ海軍中將は關東軍總司令官兼太平洋艦隊總司令官として海陸の軍隊の總指揮官として旅順に任命されました、之は千八百九十九年（明治三十二年）の八月、即ち北清義和團の風雲の兆候がそろ〳〵山東、河南の方面で起りかけてゐるときでありました。

義和團の大騷動が世界各國を驚かしたのは千九百年の夏の初めであります。アレクセーエフ中將はいち早く、五月の二十八日に、東部シベリヤ第十二聯隊を出動させ七月の二十四日には自ら兵七千、砲十八門を率ひて天津に乘込みました。後年の旅順要塞の守將ステッセルは此の時歩兵の旅團長としてアレキセーエフの唯一の腹心でありました。

私は義和團の大騷動の事を御話してゐる暇はありません。私の主人公のルビーノフ中佐と紀鳳臺さナデージダ孃の一行が旅順に到着したときにはアレキセーエフ中將もステッセル少將も皆旅順に引揚げ、南北滿洲の義和團や馬賊の大騷動も全く收まつてゐる天下泰平の時代でありました。

曠野に築く夢（40）

大庭武年作　淺枝次朗畫

人生の舞踏場（十一）

齋子はこの見掛けによらぬ純眞なヂヨンニイの心情を、好ましいものに思つたが、事が事だけに、もつともつと追窮せずにはゐられぬ氣がした。

「ぢや兎に角、誰れも暗號文が貴方の手にあることは知らないのね？」

「そ　所か、暗號文が殘されてゐた事すら知つてる人はないでせうよ」

――ヂヨンニイは殆ど「金」と言ふ物の概念を忘れたかの如くつまんなさゝうに答へた。

「……だから僕結局怨靈物破いちやつた方が怨みッこ無くッていゝと思ふんですよ。さうすれば永久に其靈物は土の中に埋もれて了ふんでせう。所がそれを出して御覽なさいよ、さんでもない禍ひが續出してくるに極つてるんだから」

「それもさうだけど」

――齋子は頰に指を當てゝ考へ乍ら

「――でも使ひやうによつちやあれえ」

「けどれ齋子さん」

ヂヨンニイは語調を改めて齋子に向き直つた。

「――暗號文は僕の手中にあると言つても、現金は何處にあるのか些とも分らないんですよ。僕にはまるで暗號文が解けないんですから。でも貴方には分るかも知れませんれ。――これなんですけど」

一枚の厚手の唐紙、それに支那流の古味がかつた楷書文字が書き並べてあるものを、ヂヨンニイは無雜作に、洋服の內ポケットから取り出した。尤も其は汚くなつた他の和紙で二三重には包込みはしてはあつたけれど――。

「さあ――」

齋子も胸を躍らせ、その書きものを手にしてはみたものの、一讀して見て、まるで狐に抓まれたやうな顏を、しないわけにはいかなかつた。

紙には甚麼文字がしたゝめられてあつたのだ。先づ包紙の表には「帝寶窟所藏財産中五十萬弗の隱匿場處覺書」と漢文でしたゝめられてあるのは、漢字を逝つたゞけでも理解出來るが、中の紙の文章は字義通り文字の羅列で、何だかさつぱり見當なんぞつきはしない。即ち、

×

金點城中門大齊庭
五鐘門年王十五緒
光尺二西四羅鐘殿
中廟最大柏北心州

×

「これアわかんないわれ」

齋子も遂に匙を投げて言つた。

「貴方にも分らないんですか？」

「もつさ頭のいゝ人の助けを借りなくつちや、私なんかぢやさても」

「ぢやいつそ破いちまはうか！」

「まアお待ちなさいよ」

「だつて僕等に分らないんなら仕方ないぢやありませんか。他人になんかこれ見せる位なら……」

「他人になんか勿論見せたら大變よ。でもれ、これ程の財寶を捨てゝ了ふのは惜くつてよ。いくらでも使ひ道はあるんですもの。兎に角何とか智惠がつくまで此の暗號文は大切にしときませうよ。さしあたつてお金が要る譯ぢやなし。こんな暗號文は私達が役立てなくつたつていゝんだから」

「僕はごつちだつていゝんだけれど……」

「ぢやこれ私がしまつて置いていゝこと？貴方に持たせて置くと、いつ癇癪を起して破いちまはないとも限らないから」

「えゝいゝようにして下さい」

齋子は手速くそれを少さく折り疊んで、それを近くの机の上に擲り出してあつた自分のリスト・バッグの中にしまひ込んだ。

撰て、諸君、僕はこの二人の男女が、この黃金の出現を契機として、こう心持を變へて行つたか、それは述べる迄もない事だと思ふのだ。それよりも僕は、彼等の室と背中合せの一室で、同じ此のホテルの宿泊客であつた植中と、植中と同道して尼ケ濃からやつて來た伴とが、尨大な銃器密輸入の件に就いて、ひそひそと熟議を重ねて居たのであろう事を付け加へ度い、と思ふのである……。

家庭

お互ひが迷惑 行樂シーズンの迷子 子を持つ親の心掛け

觀測室の寒暖計の水銀柱が〇二十二度を示して世に正に駘蕩、漣懃の黄、柳の緑、杏櫻の淡紅、まあ何と甦生の春の美しさ、輝かしさ、ページェントを踏む足音の賑やかに輕く、七分咲きの花蔭に辨當を開く家族づれが日に〳〵殖えて來ました

好天と ブリーズに惠まれた二十九日の天長節などはこれ等行樂の人々で星ケ浦、老虎灘、電氣遊園方面はどこもこゝも大變な人出で恐らく四萬人近くも出たらうと云はれてゐます。從つてこの花見季節に附きものゝ迷ひ子の數も相當に上つたらしいのです「迷子が出たりすると親だつて花見どころでは無いだらうし、警察側としても交通事故だの何だの事務の繁忙な時だし大變迷惑です。毎年のことだし新聞でも豫め注意を促してゐるのだから

保護者 の方でも少し氣を附けて貰つたら餘程御互の手數がはぶけると思ひます。第一は住所姓名を記して迷子札をつけて置く事、少し判りのある年頃だつたら自分の住所氏名と親の名前位はよく覺えさせて置く事かうして置けば若し迷子になつてもすぐ自宅に通知するなり送り屆ける事が出來ますから何より簡便です。又若し迷子が出た場合は充分あたりをよく搜査して見附からなければ早速最寄の

交番に 屆けて頂きたい。又迷子を發見した方も是非最寄の交番なり警察なりへお連れ下されば何よりです」と大連警察署藤井保安主任の話しでした

これだけは お花見に ご用意なさい 一家團欒の興をそぐ 急病人や怪我人

櫻、櫻、櫻は日本人にとつての春のシムボルです。愛するわが「ニッポン」の花です。いよ〳〵その櫻が滿開だといふのですから定めし明日の日曜日あたりはこの花見る人の爲めに何處も此處も埋められる事でせう。しかし家族團欒の樂しかるべき一日の行樂がたつた一人の急病人や怪我人のために滅茶苦茶にされることも無いとは云へません注意深いママ樣方には既に準備もありませうが、この不時に備へるための用意を大連警察署香取醫師に伺ひました

お花見 といへば大概朝出て夕方には歸るのですから餘り大袈裟な用意は却つて荷厄介でせう、一番大切な事は出かける前に先づ家族全體の健康狀態に異狀がないかどうかを調べる事です、もし誰か惡い樣だつたら外出を見合はして又の日を待つか、家族の一部が殘る樣にした方が安全でせう、出掛けるとなれば怪我の用意として沃度丁幾、オキシフル、繃帶、蟲に刺された時の用意にアムモニア水、その他健胃散、齒の弱い人があれば齒痛止も必要でせう、若し

小さい お子さん方があるならグリセリン、小型灌腸器、ヒマシ油も携帶された方が安全です。も一つ檢温器も是非準備して行つて發熱でもした人があつたら早目に切上げて歸る樣にした方が萬全策だと考へます

春から夏へ……今年、米國で流行の婦人帽

日ノ丸號ノユクヘ （四十八） 次朗

「ダメデス、ダメデス」ト シユジン ハ テヲ フツテ「ナギノ トキデモ アブナイノニ コノカゼ デハ……」

太郎ハ キガ イライラ シタ、シカシ カゼ ガ ヤマナイ ト フネ ガ ダセナイノデ ヒトマツ テントヘカヘツタ

ソノマタ アクルヒ モ ソノ アクルヒ モ カゼ ダツタ、太郎ハ 光夫クン ノ コトヲ オモヒナガラ テントニ キタ

ダメデス ダメデス コノカゼデハ トテモ イケマセンヨ

カゼガ ハヤク ヤムトイイナア

ケフモ マタ カゼダ コマルナア

盛花投入れ講習會 家庭研究所で

滿鐵播磨町家庭研究所では數年來盛花投入講習會を開いて一般から好評を受けてゐるが、本年も左記に依つて五月から十月まで講習會を開催する由であるから希望者は同研究所（電話七七七八番）宛至急申込まれ度いと

▲講師、生花池之坊盛花美草流馬野常三郎氏▲時間、毎週一回午後一時より▲會費、一ケ月五十錢▲花器、無料貸與▲携帶品鋏、劍山、ノート

因に五月四日午後一時より第一回の講習會を開き種々打合せを爲す

蝦の料理三種

生蝦をよく洗ひ皮を剝かずに頭の先の硬い鬚だけ切り去り皮付のまゝ四ッ位にブツブツに切りフライ鍋に胡麻油をひいていためます、他に生薑を千切りにしたものと葱を一寸位に切つたものを用意して置き蝦がよくいためられた時入れて支那酒（無い時は日本酒）水、鹽、醬油各少量で味をつけ暫く煮て皮を剝き乍ら頂きます。

◇

獨活を細かく切つて鹽水に暫くつけ笊に上げて水を切つて置きます、若布は水洗して小さく切ります、蝦は茹でてこれも細かく切つて置きます、白味噌に酢と砂糖と酒で味をつけ先に用意して置いた獨活と蝦と若布を入れて和へます。

◇

蝦の皮を剝き大きいのなら縦に四つ位に切つて置きます、葱を一寸五分位に切つて二本串に葱と蝦とを交互にさして葱がこげない位のトロ火で兩面から燒きます。別に赤味噌に砂糖と酒とを加へたものを少し煮詰めたものを用意して置き、それを燒けた蝦と葱につけながら頂きます

相談

◇應萬事相談 ◇用紙ハガキ ◇相談係宛

手の皮が薄い

手の皮が大變薄いのですが何か療法は御座いませんか冬などは殊に手が直に紫色に變つてうろこの目の樣になり大變きたならしい（きたない樣に見える）ので困つて居ります（市内一中學生）

これは皮膚の病氣といふより心臟或は一般體質の薄弱によるのかも知れません醫者に診て貰ひなさい

夜のランニング

小生は多忙の身とて晝間はランニングの練習が出來ないので夜間やらうと思つてゐますが健康にさしつかへは無いでせうか（ランニング狂）

あさから充分睡眠をされば別に差支へありません

言頭街

けふから五日間にわたつて大連市、滿鐵地方課、滿洲社會事業協會共同主催のもとに乳幼兒愛護週間が催される。

◇

愛し兒を持つ親よ、よろしくこの催しをして意義あらしめよ、さかくけふこの頃の花見時、行樂のシーズン、兒を捨てゝ浮れ出す不心得な親を散見。

◇

子供を中心にしてのお花見、行樂において初めて一家團欒の美しき花は咲き匂ふものと知れ

娘の親から見た 理想のお婿さん……10 地味なくらしの 學校の先生かお役人 眞逆の時の役にお琴の稽古 許斐文子さんの老母は語る

滿鐵理學試驗所にオフィス、ガールとして働いてゐる許斐文子さんは昭和二年三月大連彌生高女の五年を卒業したおとなしいお孃さんで、今年二十三歳、濱金町八十八番地の兄さんの表札のかゝつたお家にはお母樣が一人お留守居でした。

∞十年前∞ に夫君を失ひ二十歳の長男を頭に三人の女の子を守り育てゝ來たといふこのお母さんはもう五十の上を越えて見えますがなか〳〵確かりした思慮深い方の樣です。

「お蔭樣で息子が眞面目にやつてゐてくれましたから妹達もどうやら一人前になれました」とお母さんが語るやうに、長男信雄さんはお父さんの死後滿鐵に入社し、一家の大黑柱として母と妹四人を養ひ、三人の妹にそれ〳〵女學校を卒業させ「妹を嫁しづけてしまふまでは」と三十歳の今日迄未だ

∞獨身で∞ 通してゐるといふ稀に見る感心な青年である、でも今では妹二人は良家に嫁ぎ文子さんだけが家にのこつてゐる。

「二人のうち一人は内地に、一人はハルビンにまゐりましたので文子だけはなるだけ大連の方にと思つて居ります、それに文子は三人のうちでも一番やさしくてその代り氣弱ですから遠い所に一人やるのも氣がゝりでございます、なるべく近所にゐて何かの力になつてやりたいと存じます」

しみ〴〵と慈愛にみちたお母さんの言葉

「父が生きて居りました頃は別に不自由な目も見ず、文子はおとなしいからと申して生田流のお師匠さんについて

∞琴を習∞ はせました その後ずつとやめて居りましたが試驗所に勤めるやうになりましてから本人の娯みにと思つて再びはじめさせました、毎日かへりに鳥井中勾當さんの御宅へまはつて居ります、たとへ他家に嫁づきましても眞逆の場合には役立つだらうと存じますが未だなか〳〵」

「でももうそろ〳〵およろしいんぢやございません？」

「えゝ、まあ適當な方があつたらさう婚期を延ばして迄もとは考へて居りません、嫁づけるとしましたらおとなしくてごく家庭向な子ですからなるべく地味な暮しの來る樣な方……眞面目でおとなしい、そして思ひやりの深い方ならと考へます學校の先生とか官吏とかいふ方面でしたら割合に

∞社會的∞ な苦勞が少くはないかと考へますけれど、氣立ての優しい子でございますから家庭的な係累は少し位あつてもかまはないと思ひます。あまり難かしい家庭では困りますが、御兩親に兄弟の一人位のおうちだつたら却つて二人切りよりも心強くてよくはないかとも存じます、現に嫁ぎました二人もそれ〴〵男姑や小姑と一しよにくらして可愛がられてゐるやうでございますから……それに申しましたら追つつけ長男に嫁をとつてやらねばならぬ私はどうしたらよろしうございますか ほんとに自殺でもしない事には行く處もございませんもの」

泣々と物語るお母さんの瞳が光つてゐました（寫眞は文子さん）

賣名と食はんがため 精神病者の使嗾に
檢束のルンペン五名釋放され 三名は拘留處分

邦人ルンペン群に依つて行はれた滿洲最初のメーデーにおけるデモンストレーションは準備行爲中において逸早く當局の手に依り屋外集會を阻止され首謀者八名は大連署に檢束されて脆くも解消し去つたが、關東廳當局としても事案が事案で且つは滿洲最初のメーデーにおける示威的集會であるため高等課勞働係主任末光高義警部が特派して首謀者と認められる數名につきその思想的動機及び後援したる行動の結果につき調査せしめる處あつたが、大連署では檢束者八名の中五名を一應訊問の上將來を戒めて釋放し首謀者中のリーダーと目される市內西公園町一八五無職北澤定雄（三）同智光院止宿同平田嘉雄（三）同森吉公（二七）の三名に對し寺尾高等主任は末光高等課勞働係主任立會の下に同人等の這般の行動の思想的根據及び其效果並にメーデーに用ひたる旗、幟、アジ・ビラ等作製の費用の出所等につき嚴重に訊問した上一時拘留處分に附した、然し魁と見做される三名のうち北澤定雄は昨秋迄滿鐵土木課に勤務し職員として退職に際り約五千圓を一時金として受けてゐるが退職後滿鐵幹部の措置を憤慨し昨年十月「滿鐵幹部監視、驅逐民衆擁護の基調」と題するパンフレットを發刊し倚仙石總裁彈劾演説會等を催したが、市人に顧みられざりし爲めメーデーを期してルンペン群を煽動し賣名せんとの魂膽から豫て智光院及び社館等のルンペンを呼び集めて支那料理等を饗應しメーデーにおけるデモの下打合せをなしてゐたもので當局では同人を目して一種の精神病者と見做してゐる、尚平田嘉雄は大正十四年兵役を終へて以來一定の職業なくルンペン生活を續けてゐた男で他の森吉公は元警視廳巡査を勤務してをり何れも食はんがため又は賣名のため北澤の使嗾に應じたもので他のメーデー參加のルンペン群は何れもこれらアジテーターの口車に乘せられて組織訓練はおろか何等の思想動向結果の豫知すらなくモップとして參加したものである、尚當局では引續きこれらルンペン群の今後の行動に對して嚴重監視するさ

奉天のメーデー

メーデーのため支那官憲は總動員で憲兵、衞隊と聯絡し嚴重警戒し表面何の變りもなかつたが鐵道從業員方面には宣傳文書を送付して來てゐた、城內は今日から五三、

寫眞

「海上の學校」から

（上）第三埠頭に横付けの運用術練習艦「春日」（中）左＝高木斉雄艦長（同）右――忠靈塔並に大連神社に參拜の陸戰隊

春雨を衝き 帝都のメーデー
總員一萬五千餘名に上つて 創始以來の大衆參加

【東京一日發】「開け萬國、勞働者」のメーデー歌をそぼ降る春雨の中に物凄く響かせ乍ら今日第十二回メーデーは芝浦埋立地を集合地として開會、早曉より參集する勞働者は會場入口にて嚴重な身體檢査を受け目星い者や參加團體外の者は引つこ拔かれ早くも檢束され、定刻十時會場には赤旗林立し……

赤襟孃

白襟嬢共の他婦人同盟等の娘子軍約一千の外參加組合創始以來の盛大を見せる、感激して司會者市從業員組合橋本君選任りの演壇に起ち元氣良く開會を宣し續いて全國自由聯合會代表立ちメーデー宣言を朗讀、次いで各代表交々熱辯を揮ひ愈々午後一時各種スローガンを掲げた大旗を雨中に飜へしつゝ市從業員組合を先頭に一大示威行列に移つた、會場よりの大門に出るガード下で先づ

警官隊

と衝突が開始されたのを手始めに各所に小競合を演じつゝ長蛇は大門通を芝口へ夫より昭和通を一途に上野に向つた斯くて午後四時頃長蛇の列は第二會場上野公園に到着兩大師前の立木によぢ登つた組合の鬪士等交々熱辯を揮つて閉會の辭に代へ四時半頃解散した

子供を優待
愛護週間催し

二日から六日までは乳幼兒愛護週間なので滿鐵では電氣遊園のメリゴーラウンドを五日間二錢に值下げし、三日の日曜には午後一時から三時迄レコードコンサートを催すさ、又兒童デーの映畫會は午前九時半から協和會館で午後一時半から大正小學校で開催するが場內整理の爲め大小人共五錢づゝで子供連れ以外の大人は入場を謝絶する、尚既報母の會は六日さあるは誤りで五日に催すさ

五七の年中行事的運動あるため九日まで特別警戒をする、ロシヤ領事館では祝賀式を舉行し午後二時からレギユメルで宴を開いた【奉天電話】

梅幸夫妻
滿洲見物へ 十一日着連する

【東京特電一日發】わが梨園界の立物尾上梅幸夫妻は秘書一名を伴ひ、豫て憧れの滿洲旅行をすることに決定し、目下準備に多忙を極めてゐるが、十一日入港の香港丸で大連着の豫定で、既に大連ヤマトホテルには投宿の申込みを終つてゐるさ

二日から大連劇場で 中村歌扇觀劇會
本紙讀者は各等優待割引
後援　滿洲日報販賣部

オートバイ乘り大怪我

一日午後四時二十分ごろ沙河口管內臨海浴場停留場カーヴ附近にて星ケ浦方面より歸還の途にある市內榮町二番地萩野工務所員小林誠之助（二三）の操縱するオートバイが折柄星ケ浦方面へ疾走中のライオンタクシー運轉手崔竹鋤（三）操縱の自動車と衝突し、小林は右脚を強打し打傷したので直に大連醫院に運び應急手當を施したが、左腕から切斷は止むを得ないらしく生命には別狀なしと原因は負傷者小林が強か酩酊してカーヴにおける操縱をあやまつた爲めである

國枝史郎氏夫妻

本社の招聘に應じ三十日入港の奉天丸にて來連した國枝史郎氏夫妻は遼東ホテルに宿泊中のところ一日よりヤマトホテルに引移つた

患者が醫師を斬る
處方箋の書き誤りを恨んだ揚句 菜切庖丁を揮つて

處方箋の書き誤りを恨んで患者が醫師に斬り付け瀕死の重傷を負はせた慘劇があつた――一日午後一時ごろ市內千代田町三番地漢法醫段文岡（三九）方へ診察に來た淺間町苦力王相廷（三）が段醫師に隙を見て隱し持つた菜切庖丁で段の左額面及び頭部に三太刀斬りつけ、さらに腦天めがけて斬りつけんとするところを急報によつて驅けつけた大連署員の手で取り押へられた、加害者王は約一ケ月前から胃腸を病み段醫師に診察を受けてゐたが、數日前處方箋の誤りから腹痛を覺え死にかゝつたことがあり、加害者はこれをひどく恨み一日診察に來た如く裝ひ隙を窺つて斬りつけたものである、被害者は直に滿鐵公醫臨床醫師の手當を受けたが生命危篤

三木選手惜敗

【ポインマス三十日發】イギリスハードコート庭球選手權大會に於てオースチン、エヴエリーの兩選手を擊破した三木選手は三十日の準決勝にイギリスのデヴイスカツプ選手ヒユーズ選手と對戰左のスコアーで惜敗した

ヒユーズ　六六〇六二　三木　二〇六六三

前半三セツト選手優勢なりしも第三セツトの終りに腕を痛め後半疾痛加はり遂にヒユーズに名を爲さしめた

看護婦や附添婦へ 心附絕對お斷り
患者に飲食物の見舞も禁止 大連醫院が弊風一掃

從來大連醫院看護婦、附添婦の入院患者取扱ひに對しとかく不滿の聲が久しく世上に流布されてゐたのに鑑み、醫院當局者は種々待遇上の問題について考究中のところ今回附添婦や看護婦に對して患者からの心附を堅く拒絶する旨改めて聲明した、從來も勿論心附を受取ることは禁止されてゐたが、問々人情の常として患者の家族等から心付を屆けたりするところから後はたさひ無理に心付を置いていつても後から返還するさ、なほ同時に從來入院患者に對して外部から飲食物を見舞品に贈るものが多く患者の治療上の責任を持つ醫院側では困惑してゐたが、今後醫院さしての立場から入院患者に對する外部から飲食物の見舞品を持込むことを斷然禁止することに決した

關東州內會吏員一行入京す

【東京特電一日發】關東州內會吏……

自働自轉車が自動車に衝突 一名生命危篤

一日午後六時三十分ごろ市內淡路町櫻タクシー運轉手藤田幸一（三七）が自動車を操縱し星ケ浦より大連に向ひ競馬場前に差かゝつた際、同じく後方から疾走して來た市內南山麓に住の新川某の操縱するオートバイが前記藤田の自動車を追越さんさして誤つて側面に衝突しオートバイは顚覆し後方に乘つてゐた山田唯一（三）が路上に投げ出され重傷を負ひ、直に市內山縣通唐澤病院に收容、應急手當を受けたが、目下生命危篤、沙河口署では豐増司法主任が係官さ共に實地檢證を行つた

大連市民運動會
（參加希望者の心得）

既報の如く六月七日午前八時から　家屯大運動場において大連市役所主催本社後援のもとに擧行されるが、參加規定左の如し

一、參加資格（A）大連市內在住者（B）大連市內に在る各種團體（官公衙、銀行及會社、町內會各實業組合、各種修養團體、工業專門學校、各男女中等學校、小學校、各種實業學校）但し一般競技に於て個人及び團體とも本會に於て滿洲一流選手（有段者）並に之と同等以上と認むるもの、參加は遠慮を請ふ

二、競技種目（A）一般、百米、四百米、千五百米、五千米、四百米リレー、千六百米リレー、二千米リレー（町內對抗一人走破二百米宛、八人）網運び（二尺棒二本にて空四斗を輸送しトラックを半周）提灯競爭、二人三脚スプンレース、地球送り（徑六尺、一組十人）俵運び（重量五貫匁）我慢競技（五百匁の砂袋を双手にて上方に差上ぐ）綱引（一組人員廿五人）砲丸擲（十二磅）走巾跳、走高跳（B）中學生百米、四百米、千五百米、五千米、千米メドレーリレー（C）小學生六千米（尋常五、六年女生徒各學級より二名宛）百米（尋常五、六年男女各學級より二名宛、高等科男女各學級より男一名宛）二百米（尋常五、六年男生徒各學級より二名宛、高等科男生徒各學級より一名宛）四百米（高等科男生徒各學級二名宛）（D）小學校女生徒體操、同男生徒體操、青年訓練所教練、假裝行列（鄉土舞踊なども含、十人以上多きを歡迎）來賓競走、役員競走

三、諸規定（A）參加規定（イ）一般團體を除く競技は一人三種目以內（ロ）學生個人競技は二種目以內（B）組合せ（イ）一般個人競技は接近年齡に依る、但し五千米は此限りにあらず（ロ）學生は成る可く學年を標準さす但し小學生は學年別さす（ハ）假裝行列を除く團體競技は抽籤に依る（ニ）團體競技中同一種目に對し其申込が二團體に滿ざる場合はその種目は中止す（C）出場者の心得（イ）出場者は競技委員の指揮に從ふべし（ロ）競技者は必ず本會交付の胸番號を着くべし（ハ）競技者は異樣又は不體裁の服裝を爲すべからず（ニ）競技者は招集係員の招集に應じ直ちに指定の場所に參集すべし、その招集に應ぜざる者は該競技より除外す（ホ）競技の進行上回數を併合することあるべし但しその場合は夫々別個に採點す（ヘ）審判員に於て不正行爲ありと認めたる時は該競技より除外す（ト）審判員の判定は最終にして抗議する事を得ず（チ）競技者は自己の參加せる競技終了したる時は直ちに控室に歸るべし（リ）假裝行列に參加するものにして猥褻なる言動、扮裝を爲す者は出場を謝絕す（D）申込方法（イ）申込期日は五月二十日（ロ）個人競技希望者は往復はがきに住所氏名、年齡職業及競技種目（はがきの返信にも住所氏名明記の事）を記載し申込期限內に申込む事（ハ）團體競技は一種目毎に往復はがきに團體名、參加者氏名、種目等を記載し代表者名を以て申込む事（ニ）學兒童及學生は各學校に於て各學年毎に取纏め申込む事（E）申込所大連市役所總務課（電話八五五一番）（F）參加證、往復はがきの返信を以て之に充つ、參加證を受けたるものは六月五日までに市役所總務課に於て胸番號を受ける事（學生の胸番號及び參加證は一括して各學校に送付す）參考、胸番號の數字の黑色は一般、赤色は學生

四、賞品　一般五千米滿鐵總裁盃一般四百米リレー滿日社長盃、一般千六百米リレー市長盃、町內對抗二千米リレー同、學生千米メドレーリレー同、なほ優勝盃獲得者は二週間以內に返還せしめ其際「ペナント」を授與す

金福線列車の現金竊取犯人捕る
元大連驛のポイント係支那人 鄉里山東から舞戻り

昨年十月廿九日大連驛で金福線五百三列車の入替作業中、同列車の荷物室金庫內から現金二千八百圓を何者かに盜まれた事件は大連署の搜査空しく迷宮入りとなつてゐたところ、一日同事件の犯人として目星をつけてゐた元大連驛ポイント係市內榮町閻寶鑾（二九）が鄉里から舞戾つたところを大連署刑事が逮捕し取調べの結果、犯行一切を自白した、閻は昨年十一月三日まで八ケ年間大連驛に勤め上司の氣受けもよかつたが、十月廿九日五百三號列車を入替作業中、荷物室の金庫の扉が開き現金二千八百圓が目についたので惡心を起して竊取し、犯行三日目で辭職して鄉里山東に歸り田地山林等を買ひ込んで地主成りすましてゐたものである

南露地方の震害
死者既に五百卅六名

【モスクワ三十日發】二十九日黑海、裏海間の南露諸地方を襲ふた大地震の被害は正確な報告の到達するにつれ以外に甚大であつたことが判明し死者既に五百三十六名を算しなほ追加さるゝ見込である、アルメニアが被害最も甚だしいがジョージア地方も相當の死傷あり、ソウエート共産黨書記長スターリン氏の生地ゴリ市はジョージア地方中被害の中心となり氏の心痛は甚しかつたが、幸ひ氏の母堂は同市から二百キロ隔てたチフリス市に居たので無事であつた、ソウエート人民委員會では急遽善後策協議の結果救護費として二百萬ルーブルを支出することになつた、目下震害地は各地から救援の派遣隊出動し死傷者收容救護を急いでゐるが、地震に續いて豪雨や冷氣襲來し慘狀目も當てられぬさ

重輕傷者約四千人

【モスクワ三十日發】南露大地震の被害につき三十日夕までに集つた報告に依れば重輕傷者の數は既に約四千人を算してゐるさ

旅順師範學堂 內地見學團

【東京特電一日發】旅順師範學堂の男女學生四十六名は稻賀教諭に引率され三十日無事入京、一日午前十時日比谷松本樓にて關東廳出張所の歡迎會に臨んだが、滿京中の西山財務部長、大內出張所長、野中廳等は一行に茶菓を饗應し西山部長歡迎の辭を述べたるに對し師範學堂の學生は巧な日本語で日本內地の風光明媚にして且つ東京、大阪の都市の立派なのに全く驚嘆の外ありませんと謝辭を述べた、一行は二日日光見物の上西下して八日歸連の豫定である

韓濂家氏一行十名は嘉利正雄氏に引率され一日午後四時十五分東京驛着列車にて入京、關東廳の大內出張所長、野中廳、滿鐵支社員等多數の出迎へを受け神田の旅館に落着いた、二日關東廳出張所の歡迎宴に臨みそれより日光見物西下各地を見學して十四日歸連の筈であるが、一行の支那人は皆東京の都市の近代的美觀に驚いてゐた

春日拜觀許可

滿鐵弘報係では入港中の海軍運用練習艦春日にて一日午後六時より滿蒙に關する參考映畫の映寫をなした、なほ春日では二、三日兩日は午前九時より午後四時迄一般市民の拜觀を許し、乘組員はその兩日は半舷上陸市中を見學し四日午前八時佐世保に向つて拔錨の豫定である

謝恩會

日本橋小學校に教鞭を執つてゐた貴山市男氏は教界から引退後悠々自適の日を送つてゐるが毎年同小學校卒業生の間育に老教師の慰安會が行はれてゐるが今年は貴山氏が古稀にあたるので更に盛大にする爲め同校尋常科第一回卒業生有志參集花見をかねて二日夜老虎灘において古稀祝を開く

安樂椅子

一日入港の海軍運用練習艦春日に敬意を表しがてら埠頭にやつて來た滿鐵牧野囑託少將、例の美しい髭を春陽に映し乍らの述懷話、この軍艦を見るさ自分はすぐ日露戰爭を想起します。當時日本のどの軍艦も全くの舊式で旅順攻擊には全然威力を發揮する事が出來ず困つてゐる際、日本がイタリーから買受たのがこの軍艦でしたこれは智利が伊太利に注文してゐたのを日本が讓り受けたもので、艦載大砲の仰角が利くのでこの艦の大砲一つが大きな力となつて日露戰爭を支配したのです

……◇……

私は出征の際恰度この軍艦がイタリーから廻航されたのに會ひましたがその時さんなにこの軍艦が賴もしく思はれたか知れやしません、そう云ふ意味からでも敬意を表しに來る必要がありますよ

虹と兜虫 (113)

龍膽寺雄作　一木弴畫

鎧武者(四)

「いや、さッき花見の客がそんな噂をして居るのを小耳に挾んだものですからね」

綠ケ丘氏は龍子夫人を顧みて

「何でも廢坑へ火を放つて、金氣違ひの爺さんの、掘りためたさいふ例の有名な砂金を盜み出さうとした一味に、兜も加はつて居たとか言ふ話で。………」

「それは恐らく何かの間違ひぢやらう」

伯爵は頭から否定するんです。

「元來兜と言ふ男は手のつけられんいたづら者ではあるが、刑事犯をしでかす樣な男ではないし、第一今の話にしてみても、もともとあやつは金氣違ひの老人の妙に熱心な味方ではあつても、あれに仇をする樣なことはせん筈ぢやから。……大きな聲では言へんが、これで殺されたがあそこにゐる鐵雷藏氏でどもあつたら、もともと死んだ父親との一件もあり、敵愾心を抱いて居る仲ぢやから、若干兜にも嫌疑を着せんけりアならんが、……」

「私もそのことは聞いてゐるものですから」

と、綠ケ丘氏はつぶやくんです。

「少々どうもつじつまの合はない話だとは思つて居たのですけれど。……」

「むしろ」

と、伯爵は續けるんです。

「今日の事件などで大いに彼奴は憤慨して、犯人逮捕に警察を向ふに廻して仲間と活躍して居るやも知れん」

「あたくし、兜ッて可愛い子だと思つてゐますわ」

龍子夫人も言ふんです。

「いつぞや御靈祠の神馬をいたづらに持ち出して、街を乘廻したことが御座いましたわね、あの時にも調子に乘つていたづらはしたものゝ、あとであなたに叱られるのが怖くなつて、老ぼれた七面鳥などを持つて謝に參りましたわね……」

「時々ハメをはづしては、いたづらをやり居るがね。元來は惡意のないやつで、わしに却つてあんな奴が島に住んどると用心がいゝとさへ考へてるくらゐぢやで、は、は、は――どうして、殺人事件に關係があるどころか、警察をだしぬいて自分で犯人ぐらゐつかまへかねん奴ぢや」

「愉快は愉快な男ですけれどね」

綠ケ丘氏も異論はないんです。

「いつぞやなども、ふと風見床鐵山の話から、死んだ彼の父親とあそこに見えて居るあの鐵雷藏氏との關係に就いて、私に打開いて大分悲憤慷慨を漏らしましてね。終生自分は彼の仇役に廻るんだなどと子供らしく拳を振廻して居つたが、何のきつかけにだつたか今度は鐵雷藏の讃美論をはじめましてね。何でも兜の言葉によると死んだ父親は才物ではあつたが意志と努力とをもたない、つまり非實行的な人間だつた、が、鐵雷藏氏は徹頭徹尾實行家だ。要するに現代の英雄で、これに刄向つた親父の方が身の程識らずの大莫迦者だと言ひ出したんです。妙な論法になつてしまひましてね。とにかく兜はあれで一つの處世哲學を持つてゐる男ですよ。人間の才能とは何でもものごとを實行する能力に名付けたもので、實行性のない頭ばかりの才能は、單なる疑似才能だと斷定して居るんです。疑似才能はなかなか振つてるぢやありませんか」

「玖須さんにお聴かせしたい議論ですわ」

龍子夫人は笑ふんでした。

「どうやらあのかたも、してみると兜に罵倒される側らしうございますわ」

「いや」

と、伯爵は盃をあげて、

「さう言ふ兜がまた頗る非實行的な男でな、新らしい言ひかたをすれば、ま、ロマンテストなのぢやらう。あれに人生や社會上のさまざまな抱負を聞くと睡氣ざましになるくらゐぢや。そこへが、……相變らず自分はあの姉妹の乞食の女の子を相手に、窟でノラリクラリしとる。……鐵氏を向ふに廻してどうかしようなどと言ふのもあれでは少々覺束ないて。は、はは!」

═滿日俳壇═

募集規定　次回課題「衣更」「蜘蛛」「若葉」▲句數無制限▲半紙半紙▲各題別紙▲締切五月十日▲封筒に滿日俳句と明記▲送り先東京市牛込區若松町八二島田青峰

大連 JQAK

五月二日午後七時▲ニュース▲獨逸語講座（テキスト第一課ノ五）大連語學校講師荻榮▲高音獨唱（イ）ロマンス、カジエワロッフ作（ロ）民謠コーカサス地方（ハ）同カラバン、イダノバ夫人、伴奏メデウエデフ夫人▲薩摩琵琶（兒島高德）横溝湖城▲義太夫（菅原傳授手習兒屋の段）淨瑠璃福田二龍、三味線竹本佐太夫▲ラヂオ體操▲職業紹介事項▲料理献立▲天氣豫報

東京 JOAK

五月二日午後六時廿五分▲講演（スペインの昨今）萬里野平太▲管絃樂（一）歌劇白衣の夫人（二）ラクメ拔萃曲（三）露西亞舞曲トレパック、東京ラヂオオーケストラ、指揮平野主水▲新内（身代り坐禪）富士松佐賀尾▲ラヂオドラマ（晩年のジヤン、ヴアルジヤン）一景ジヤン、ヴアルジヤンの邸内、二景戰場、三景一年後のジヤン、ヴアルジヤンの邸内、コゼット（細川知歌子）ユリユス（三島雅夫）ガヴローシユ（高橋豐子）ジヤン、ヴアルジヤン（丸山定夫）隊長（薄田研二）負傷兵（笈川武夫）同番の女（澤村昌子）醫者（島田敬一）其の他群集及兵士大勢、出演（東京ラヂオグループ）効果（杉原貞雄）放送指揮（太田友吉）

第卅四回 滿日勝繼碁戰（北條氏二回勝三回目）

先　北條力松氏　松岡謙氏

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

—【2】—

●一ホの十一　○二ニホの九　●二三への十　○二四ホの十四
●二五ニの十四　○二六ホの十五　●二七ニの十六　○二八ニの十三
●二九への十三　○三〇トの十四　●三一への十四　○三二ロの十四
●三三ロの十三　○三四ロの十二　●三五ロの十五　○三六イの十三
●三七ロの十六　○三八チの十　●三九トの九　○四〇チの九

▲清水三段講評　黒二一は二八に突當りて置くがよい二三に於ても然り黒三三は單に（い）に締れ白三四の（ろ）に掛る方有利でもあらう